

下里村
同
下太田村
太地村
同
同
田原村
那智村
同
宇久井村
高池町
谷地村
上太田村
三輪崎村
西向村
色川村
勝浦村
西向村

和泉才五郎
和泉鐵造
生駒次郎藏
石垣政次
畑下春松
橋本菊松
早見德藏
西田德次
西田加四九
西澤鶴藏
西作藏
細野鶴松
細野喜七
大西捨松
和田勘吾
和田吉松
和田鶴松
脇口溪平
若本住松

池山村
西向村
下太田村
太地村
宇久井村
西向村
下里村
田原村
三尾川村
色川村
太地村
下太田村
同
三尾川村
新宮町
古座町
太地村
高池村

勝山市松
上村七之助
上手又市
川堀與八
龜井市之助
巽倉次郎
竹中三四郎
谷次郎
灘口鶴松
玉井虎市
曾根保平
辻太市
根本定太郎
中垣榮助
中垣與吉
中村初太郎
中村政太郎
中島珍太郎
長尾定藏
村上音松

色川村
太地村
同
那智村
古座町
色川村
同
下里村
下太田村
太地村
同
那智村
田原村
三輪崎村
大島村
下太田村
太地村
同
古座町
高池町

向野瀨與七
向井常吉
海野孫助
植木米吉
野間佐太郎
久保太藏
栗須吉太郎
楠本音兵衛
山西長之助
山下音次郎
前谷定市
前田義弼
松崎市松
丸本留三郎
船越次太郎
小坂音松
小畑富太郎
小見安吉
淺利太造
後口五郎松

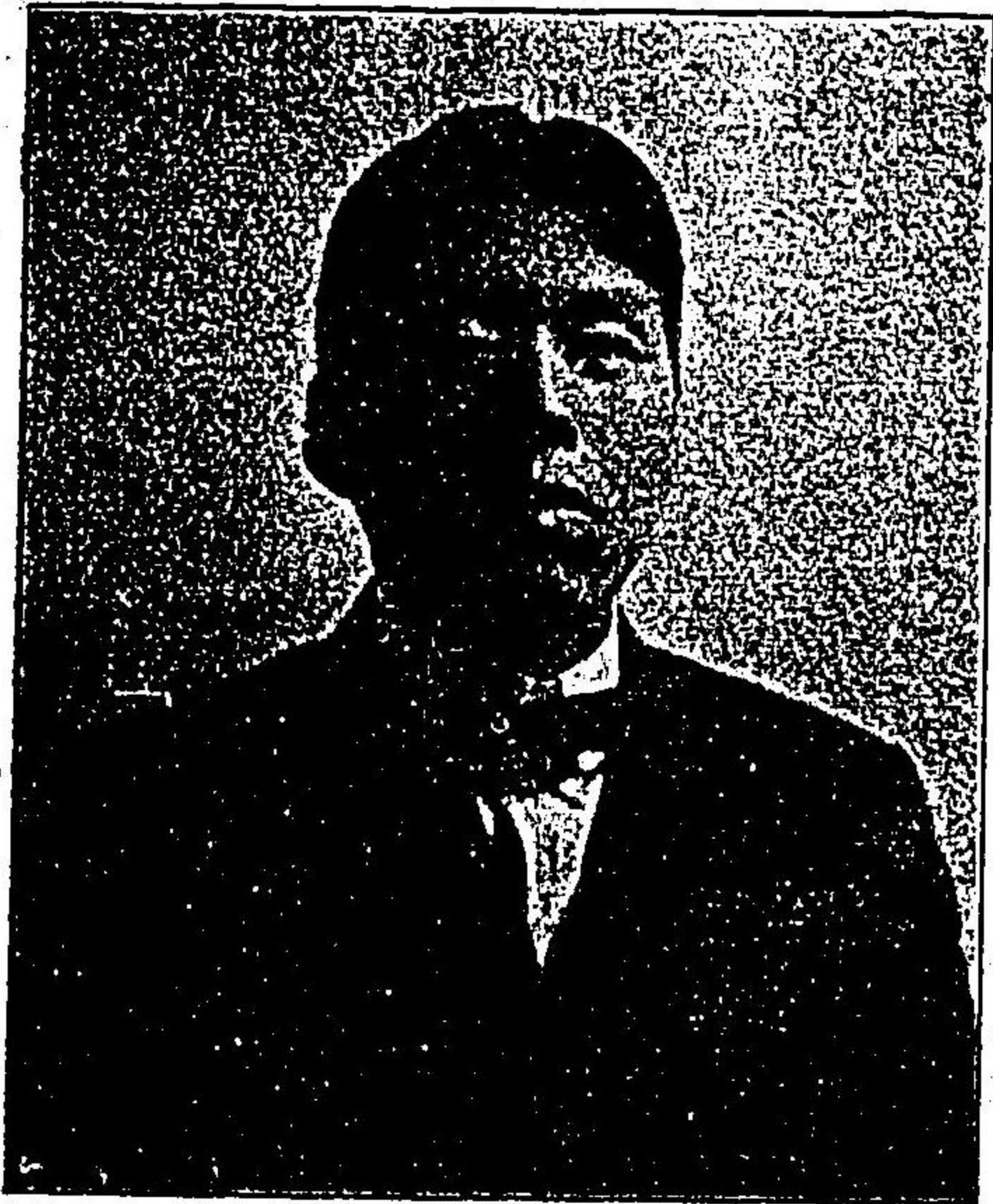
新宮町
太地村
同
西向村
上太田村
三尾川村
同
下里村
三尾川村
小川村
古座村
三尾川村
新宮橫町
太地村
下太田村
三輪崎村
西向村
下里村
同
三輪崎村
那智村

酒井寅松
齋古算次郎
齋古仁助
坂地初六郎
坂本三五郎
坂本三太郎
切石德太郎
樹橋太郎市
宮本壽吉
宮本富吉
宮石安藏
日高豐太郎
日下音次郎
東松太郎
森建樹
勢古豊次
瀬古辨之助
關谷彌之助
關谷彌之助
鈴木平次郎
鈴木榮太郎
鈴木留五郎

原籍地 伊都郡笠田村

現住所 タコマ市工事會社

木村 正 次



明治三十一年移民旺盛の時代に渡航したる一人にして、十星霜間の經歷は後進者をして、興奮に價するものあり、一度はワシントン湖畔に於て農事を經營し其計劃小なるに非らざりしも時運は氏はして順境の士たらしめず、數千の財力を投して一時中止するの止なきに至れり、爾來又赤手となりて貯財に従事し、タコマイースタン鐵道會社の人夫長となり居りしも、焼ゆるか如き氣力は益々向上發展し、逆を轉して順に向はしめ、將に當初の目的に進入せんとしつゝあり、快活にして事物に屈せざる体の勇氣は豈地中にもものたらしめんや、公共團體員としては紀伊救濟會の役員なり、

原籍地 伊都郡大谷村

現住所 シヤトル市大北鐵道會社

内田 德三郎

伊都郡

大谷村

同

笠田村

勝本 勝三郎

内田 德三郎

草田 幸太郎

山根 木福松

岸田 由 藏

三十七年タコマに上陸し、直ちにシヤトルに來り、蒸氣汽鐘に関する實地見習のため目下大北鐵道會社の汽鐘方となり日夜研究に従事せられつゝあり、吾人は氏の意氣を壯也として讚美に堪えざる也、丈夫萬里の波浪を蹴破し遠く北米の天地に向ふ何人か胸裡遠大の抱負を懷抱せざる者あらむ、氏や將來飽く迄工業家として社會に活動すべき覺悟にて其熱心は氏をして自ら一流鐵夫となり實地の修練に奮勵せしむ、吾人は氏が志を得るの今日の經驗が非常の効果を及すべきを信じて疑はざる也、

和歌山縣 有田郡

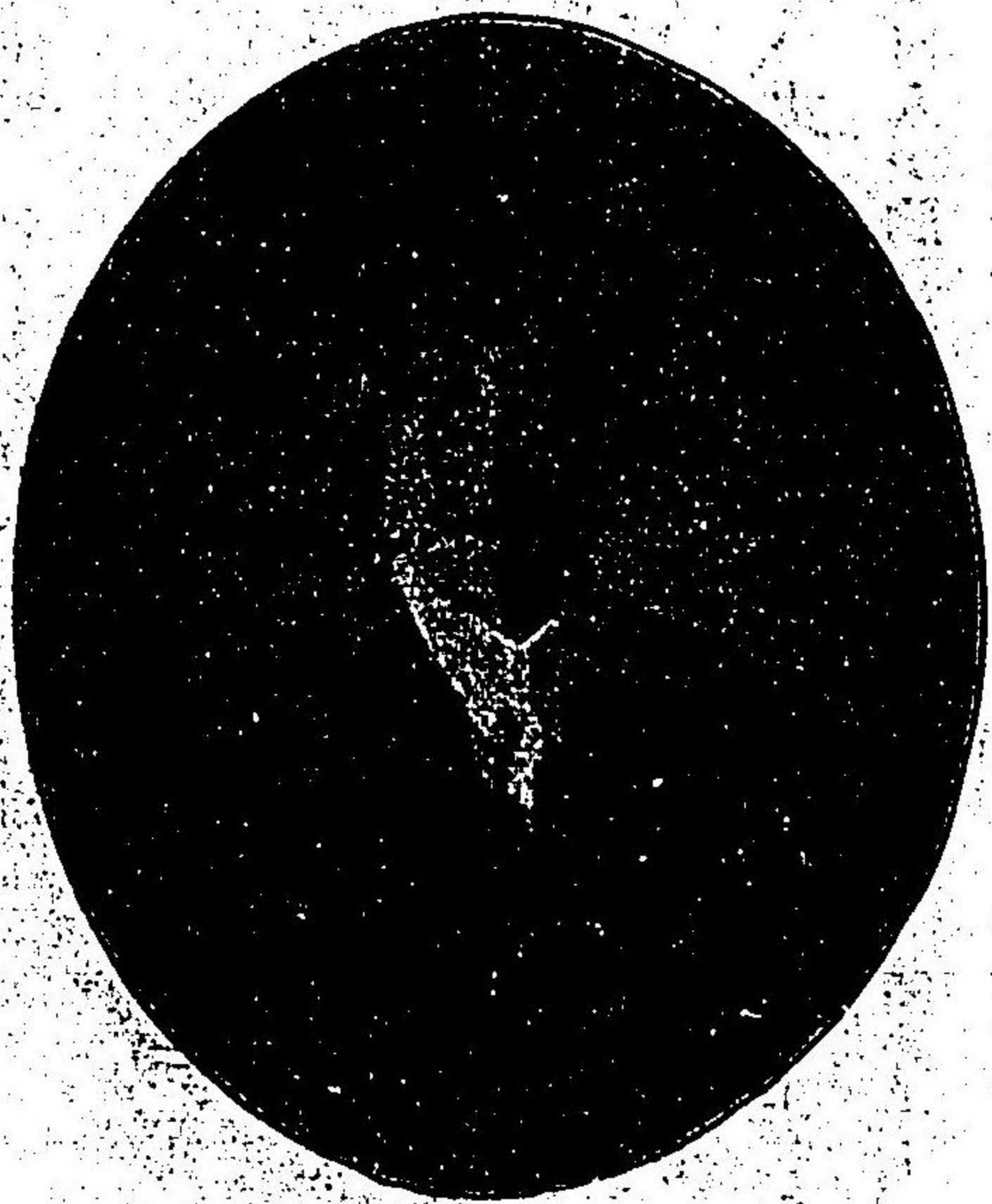
原籍地 有田郡湯淺町

現住所 シヤトル市エルクスクラブ

五百十

芝野 吉次郎

明治三十三年三月シヤトルに上陸するや、白人の商店に働く事四ヶ年の長日月に及び其間言語風俗を異にせる異郷の辛酸は實に筆紙に盡くし難きものあり、而かも氏はすべて之等の苦難に打勝ち超然として前途の光明を憧憬して自己逆境と奮闘し、目下倶楽部に於て部員の接待係を勤務し其間大に他日發展の準備を講せられつゝあり、勇氣を鼓して須らく男子の本領を發揮せよ、逆境何者ぞ不運何者ぞ之と戦ひ之を征服し成功の凱歌を揚ぐるは吾人當然の本分ならずや、氏は已に巨額の貯財を爲しつゝあれば、其獨立自營者たることは易々なりと聞く、自重せよ。



原籍地 那賀郡粉川町
現住所 スポーケン市

池田 伊之助

明治三十二年北米に渡航し、貯財に従事して已に多額の金圓を送金し、着々として其歩武を進め居れり、一度東洋貿易會社の配下に屬して、スポーケン支部の管轄にて鐵道勞働に従事して以來、一個の勞働者たるに甘せず、白人監督より技術のこゝとを教習せられ、數年一日の如く熱心勉勵したれば、工事に於ける作業の技術を研究し、白人をして瞠若たらしむるに至れり更に轉してホームマンとなり、氏は或る區域内を受持監督する地位に立てり、吾人は我が同胞の勞働者は斯くあらんことを望む、性質温順にして寡言、齡二十五才、前途又有望の一人なり



和歌山縣 那賀郡

五百十一

原籍地 那賀郡王子村王子

現住所 シヤトル市シヤクソン街五百十二番

谷口憲助

三十一年三月英領ビクトリヤに上陸し、漁業に従事する事多年風浪雨雪と戦ひ、あらゆる困難を侵し來り、三十六年九月當市に來りて目下有名なるラスケラー料理店にて料理業に従事し、技倆の熟練なる同店にても頗る重用する所となり店主の信任目を逐ふて厚きを加へつゝありと、氏未だ不幸にして獨立業者たるの成功を見る能はざるも、從來活社會に於ける活ける實驗は他日志をなすの曉に於て多大の幫助たるべきなり否寧ろ今日迄の實驗を基礎として氏が成功の樓閣は最も堅固に建築され得べきなり、

那賀郡

- 池田村 伊藤竹之助
- 同 池田 磯吉
- 粉河町 池田伴之助
- 上岩出村 石橋岩吉
- 同 石橋萬二郎
- 麻生村 石脇米藏
- 長谷毛原村 石井喜之助
- 狩宿村 井端民之丞
- 田中村 稻田菊若
- 同 蜂木吉之助
- 川宗村 林虎之助
- 岩土村 大東芳太郎
- 池田村 岡本義雄
- 龍門村 岡野市藏
- 田中村 角芳三郎
- 同 武田彌之助
- 池田村 長尾諦圓
- 岩午村 中村安次郎
- 王子村 中尾新十郎

- 同 中尾力若
- 同 村田太郎三郎
- 田中村 植村清治郎
- 狩宿村 前畑徳之丞
- 山崎村 藤平音吉
- 岩手村 船戸市太郎
- 王子村 兒玉常三郎
- 龍紋村 小島虎藏
- 岩手町 板本恒助
- 王子村 榮本平太郎
- 根來村 喜多庄太郎
- 小倉村 南出淺吉
- 麻生津村 東英二
- 田中村 平原茂助
- 池田村 須田竹松
- 北汀町 和歌山市 黒田常三郎

原籍地 海草郡貴志村

現住所 シヤトル市南第二街

請負業

貴志 捨楠

和歌山縣人間の先輩者として、同縣人の間に推重せらるゝ一人なり、三十一年渡米して以來一度は桑港地方の情況をも視察し、英領加奈陀の事情にも精通し、而して勞働界の實情を悉知するか故に餘り誇大の看板を掲げずとも、内實は比較的健全のものならん、

明治二十年五月北米カリフォルニア州桑港に上陸し、一時は勞働界に身を投じ、貯財を爲さんとして、アラスカ探險を企て、ユーコン川の氷上をば一ヶ月に亘りて徒歩し、雄奮の氣益々強く數百哩の不毛の地を探りし勇氣は恐く常人の出來得べきことにあらず、即ちアラスカに亘りし所以のものは金礦を發見して以て金儲せんを企圖したるものにして、其効力を奏するに至らざりしは、頗る遺憾の事に屬す、他郷に居住して二十年此間に於ける世路の辛酸を嘗め盡して意氣益々壯、事業は志と合一する能はざりしと雖も、氣骨稜々、仁俠の志に厚きは同縣人の性格を發揮して餘りありと云ふべく、一度は日本に歸りて礦山事業に就て劃策する所ありしも良結果を得ず、失意の時代、得意の時代を超越して徐ろに人生の眞味を解し得たらん、今や思慮熟し、着々として處生の行路を辿り、光明を認めて、餘勇を揮はんとす、奮闘は一時的のものにあらず、棺を蓋ふて而して事定まらん、

原籍地 海草郡巽村大字唐根

海草郡

現住所 シヤトル市メイン街六百廿三番半

洗濯業 森脇 松楠

電話インデ X三一二

氏は同縣人前川重楠と共同して同業に従事されつゝあり、森脇氏は三十一年十月英領晚香坡に上陸し直ちにシヤトルに來り、前川氏は三十四年八月シヤトル上陸、而して兩氏は茲に共同事業として三十七年十二月前記洗濯業を開始せられたり、爾來今日に至る迄困難相扶け觀樂相喜び、而して刻苦勉勵競ふて業務に奮勵せられし結果、短日月の間に長大足の進歩を見るに至れり、邦人由來團結に乏し、氏等兩名の如き以て共同事業の模範となすに足る、

- | | | | |
|------|-----|-----|--------|
| 安原村 | 同 | 安原村 | 西畑 要助 |
| 四ヶ郷村 | 巽村 | 野崎村 | 西畑長三郎 |
| 巽村 | 木本村 | 加茂村 | 刈田 孫助 |
| 野崎村 | 巽村 | 巽村 | 田伏 騰次郎 |
| 木本村 | 巽村 | 巽村 | 惣田 春楠 |
| 加茂村 | 巽村 | 巽村 | 中田 惟一 |
| 巽村 | 巽村 | 巽村 | 上野山 常吉 |
| 楠見村 | 巽村 | 巽村 | 植杉 新太郎 |
| 大崎浦 | 巽村 | 巽村 | 野田 末松 |
| 川永村 | 巽村 | 巽村 | 野口 吉之助 |
| 安原村 | 巽村 | 巽村 | 山名 貞吉 |
| 楠見村 | 巽村 | 巽村 | 前田 平四郎 |
| 龜川村 | 巽村 | 巽村 | 松原 龜吉 |
| 宮前村 | 巽村 | 巽村 | 船橋 島之助 |
| 安原村 | 巽村 | 巽村 | 荒井 岩太郎 |
| 野崎村 | 巽村 | 巽村 | 坂本 萬之助 |
| 加太町 | 巽村 | 巽村 | 阪井 爲三郎 |
| 宮前村 | 巽村 | 巽村 | 岸 松春 |
| | | | 森田 三次郎 |

山形縣

原籍地 米澤市福田町

現住所 スポーケン市ステベンス街二百二十一番

理 髮 金澤 又次郎 妻帯

二十八年加州桑港に上陸し、數年間滞在の後華州に來り續て同州スポーケン市にて理髮業を開始し、三十八年十二月三十日一旦事情ありて歸朝し三十九年四月再渡航英領ビクトリヤに上陸して直ちにスポーケン市に來り再び理髮業を開業せり、多年の經驗は氏をして愈々斯道の妙技に達せしめ、業務日々に熾んなり、凡そ其の業務如何を問はず一技術に通達するには之を學問又は學業の成功に比して容易なりと云ふを得ず、否後者より寧ろ困難の場合あり、氏の苦心勉勵は以て今日の成功ある原因と稱すべし也。

原籍地 東置賜郡宮内町

現住所 シヤトル市東洋銀行内

遠 藤 源 吾



シヤトル市に於ける雜誌の嚆矢は氏の經營になりしものならん、當時は印刷活字なきが爲め、頗る困難したるものにて、今日まで繼續するを得ざりしは遺憾なりき、一度は東部ニュヨークにも滞在し兩三年間を経てシヤトル市に歸りて勸業會社に入り同社の事務を擔當し居りしが、之れより大に爲す所あらんとして、胸中一段の春光を認め居らるゝが如し、吾人は其何物たるを知らずと雖も、空しく白髮を冠して郷に歸るの士にあらざるを信ず、

公共団体には東北人會の幹事として専ら内部の事務を擔當し同會の爲めに盡力する所多し、

原籍地 西田川郡湯田川村

原籍地 西田川郡鶴岡町

現住所 シヤトル市マリン街五百八番半

現住所 シヤトル市ジャクソン街浸禮教會

寫眞業

五十嵐與七

農事研究

奥井博治

明治三十八年四月氏は寫眞術研究の目的を抱きてシヤトル港に上陸し、ヘニー寫眞館に目下助手として勤務せられつゝあり、斯業の研究に氏が心を傾けしは日尙ほ淺しと雖も其の熱心勤勉は技術の上に著しき進歩をなさしめ、且つ天性器用なる氏の性質は更に一段の進境を速やかならしめ今日にては優に一箇の寫眞師として獨立開業するも恥しからぬ手腕を有するに至れり、然れ共氏は決して己の技術に誇る事なく終始實着忠實に其研究に奮勵せられつゝあり、

渡航して來た日淺しと雖も、氏が渡米の目的たる農事には全力を傾注し居れり、華州農事會の一員となりて、此間に處し頗る熱心なるは吾人をして其た意を強うせしむるに足る、今や自ら農事を経營して益々發展せんと計畫半ば其歩を進め、日ならずして着手するに至るべし吾人は今日に於て明示するを欲せされば、只將來の希望に對して益々奮闘あらんことを望む、特に本書の編纂に對して努力を與へられたることを謝す、

米澤市

南村山郡

門東町

松浦是之
山下正雄

中川村

佐藤權平

東田川郡

東榮村
狩川村
同

阿部 豊治

三浦竹次郎
三浦又次郎

西田川郡

濱中村
鶴岡町
余目村

早坂元輔
佐々木信次
佐藤喜内

東村山郡

豊田村

鈴木勘次郎

北村山郡

西郷村

板垣不二松

山形縣

米澤市 東田川郡 西田川郡

東村山郡

北村山郡

南村山郡

五百十九

兵 庫 縣

同縣下の渡航者は一昨年頃より稍々増加したるものにて、縣人會を組織するまでに至れり、

相生郷會規約

第一條 本會は北米合衆國に在留する兵庫縣人を以て組織す

第二條 本會の名稱を相生郷會と稱し事務所をシャルト市南第五街二百七番に設置す

第三條 本會々員たる者は互に品位を重じ交誼を厚くし福利の増進を以て目的とす

但し徳儀を紊り賤劣の行爲あるを認知したる時は互に注意を與え尙改悛の狀なき時及び會費三ヶ月以上滞納し督促に應せざる者は決議の上除名する事あるべし

第四條 本會々員たる者は總會には萬障繰合せ出席の義務あるものとす

第五條 本會々員は會費として壹ヶ月金二十五仙を毎月十五日迄に會計又は幹事の手許迄に納付するものとす

第六條 收納したる金員は總て會計に於て整理し銀行に保管し是を幹事にて監督するものとす

第七條 總ての帳簿は會場に備え付け置き會員に限り何時たりとも熟覽する事を得

第八條 本會の主旨を賛同し入會せんと欲する者は前條會費を添え申込むべし

第九條 本會々員にして止むを得ざる事故の爲め退會せんと欲する者は其旨必ず幹事に通知し承諾を受くべきものとす

第十條 本會は役員を左の通り置くべし

幹 事 三 名

其内一名會計を兼任爲す事

第十一條 本會幹事の任務は本會を代表し諸般の事理を監督整理し會計は金錢の出納を掌る者とす

第十二條 本會幹事の任期は滿六ヶ月とし會員の投票を以て之を決定す

但し同票數なれば年長者を以て是れに充つ

第十三條 本會の總會は毎年春秋二回とし役員改選は總會の席上に於て爲し懇和會は隔月に一回開會すべし但し緊急提議の場合幹事にて必要と認めたる時は臨時總會を開會すべし

第十四條 本會の規約増補修正決議は總會出席賛成者の多數を以て確定す

右者明治三十九年三月十六日開きし總會にて決定す

幹 事

平 山 廣 三 郎

全 兼 會 計

天 野 末 吉

幹 事

林 拾 吉

原籍地 神戸市中山手通七丁目十六番地
現住所 シヤトル市三十五街千六百卅八番

村松三郎

明治卅六年三月を以て渡米し直ちにサムナーズスクールに入學し、三十七年の秋シヤトル市に來り白人青年會教育部の商業科に入り修業の傍商品陳列及廣告法等を研究せられ毎月東部より右に關する圖書・記事等を取寄せて之に自己の意見を加へ目下同氏令兄等の營まる、西澤州の各支店に轉送して之を補助せられつゝあり、氏は一兩年滯米學業成功すれば歸朝し、更に協力して氏か亡父の遺業を繼承せらるゝ由、將來有望の好青年として自重自愛以て將來の大成功を博せられん事を切望してやさざるなり

一度志を立て、四千裡外の異郷にて、成功せんと欲するものは、胸中一物を獲得せざれば止まざらんとするの概あるは異口同音なるべし、而して成功不成功の岐るゝ所以のものは抑も何等の基因なるべしか、渡米するもの必ずしも成功者たらず、僅に百を以て二三を算するに止まらん、勞働者は勞働者として其程度に於て成功すべく、商人は商業にて成功すべきも、學生は未だ一定の獨立業者たるにあらず、之れ北米に航して其意志を左右にする弱點あり、學生は學生の行動を執らずして、巷衢に彷徨する徒又少なしとせず、眞面目なる奮闘は最後の勝利たるを得べく、吾人は村松氏の如き意志を有する青年を歓迎す

原籍地 神戸市多聞通二丁目

現住所 シヤトル市南第六街

旭商會

天野末吉



明治三十七年北米ワシントン州シヤトル港上陸一度は勞働界に這入りしが、此間に於て基督教の教義を聞き、自ら豁然として自覺し、今昔の感轉た禁するを得ざるものありしと聞けり、爾來熱心なる信者となり、ジャクソン街浸禮教會にて幹事の用務をなし居りしが、同職を辭して現住所に旭商會を設立し、書籍、賣藥、其他娛樂的俱樂部やうのものを組織し、理想的又改善的行動に出てんとす、汲々として利を貪らんとするに引換へ、一種異なりたる流儀も又有利有益ならん、氏は又相生卿會、甲辰會、日本人會等の公共團體及教會の仕事に盡力する所多大なり

原籍地 神戸市東川崎町一丁目

現住所 シャトル市第五街

林 拾吉

要帶

明治三十七年十月シャトル港上陸、平山氏と同じく同地さかみや雜貨店の店員となり現在其勤務に従事せられつゝあり、而して此間獨立業者たるべき準備に怠りなし、氏の熱心勤勉は必ずや十分の手腕を揮ふの日あるべし、氏は又相生會の幹事として平山氏と共に大に親友の爲めに盡力せられつゝあり、人生は只奮闘のみ自己の運命を開拓するは自己のみ、自ら助くるの人に非ざれば天又之を助けず、願くば自重自立の精神を鼓舞して前途の目的に向ひ勇往邁進せよ、

原籍地 神戸市港町三丁目

現住所 シャトル市カシントン街四百十五番

洋服 村上庄太郎

明治三十六年七月シャトルに上陸するや、同市メーナード洋服店に入り其後島村洋服店に轉し店務に従事せり、此間氏の熱心精力裁縫術の熟達及資金の貯蓄に傾注せられたり、人間の熱心程世に恐るべきは無し、點滴遂に石を穿つ譬の如く、氏の枝倆は妙處に達すると共に獨立事業を開始し熱練なる手腕を奮ふべき好機は至りぬ、茲に於て氏は一箇壯麗なる洋服店を開き、多年の經驗は開業以來日猶ほ淺しと雖も非常の好評を博し、店務日々繁忙を極めつゝあり、

原籍地 神戸市中山手通二丁目

現住所 シャトル市第五街

平山廣三郎

三十六年四月シャトル港上陸、同所さかみや雜貨店の店員となり引續き今日に至る迄熱心に勤務せられつゝあり、成功は決して一時の僥倖を以て獲得し得べきものに非ず、如斯きは輕薄なる投機者流の夢想のみ、苟しくも一事業に對する眞個の成功者は不變の目的を抱いて努力奮勵せし名譽の戰士也、着實氏の如きは此の點に完全なる成功者の資格を具備せりと云ふも不可なからん、氏が目下の商店に入るや専ら店務の隆盛を期し一意勉勵せらるゝのみ、之實に利を見て轉する薄志漢の能くすべき所ならんや、

神戸市

- | | |
|-------|-------|
| 布引通 | 伊藤義雄 |
| 和田崎町 | 池田勝五郎 |
| 元町 | 岩橋菊太郎 |
| 兵庫港町 | 服部源三郎 |
| 下山手 | 原田熊藏 |
| 御幸通 | 岡田重知 |
| 仲町 | 岡田重造 |
| 下山手 | 金澤直次郎 |
| 中山手 | 川本種三郎 |
| 西出町 | 田中金藏 |
| 下山手 | 竹谷利一郎 |
| 中山手通 | 坪田万二 |
| 山本通 | 中村久吾 |
| 下山手 | 長尾彦作 |
| 港町三丁目 | 村上庄太郎 |
| 中山手通 | 朽木順一 |
| 元町 | 山本正名 |
| 同 | 山本政太郎 |
| 中山手 | 播仙次郎 |

兵庫縣 神戸市

五百二十六

幸通七丁目	福岡喜八
元町	小島貞市
兵庫西出町	近藤政次郎
下山手通四丁目	赤野初藏
中山手	安達三郎
元居留地	青木誘
中山手	榊原國二
中山手	御所秀吉
須佐之通	島田貞三
中山手	平島又太郎
福原町	日下卯三郎
橋通	森田秀夫
	諸頭時次郎

原籍地 姫路市綿町四十六番地
 現住所 シャトル市ジャクソン街五百十二番半

裁縫業

大崎 爲吉

電話R二八九五

氏は三十七年八月シャトルに上陸するや滿二ヶ年余某洋服店に雇はれ裁縫業に従事し、其間専心一意技倆の熟達大に見るべきものあり、茲に於てか兼て蓄積せる資金を以て洋服裁縫店を開業し、同時に妻るい子は同所にホテル營業を始めた、而して目下は兩者相待つて日々盛況を呈しつつあり、如斯夫妻協力して働ける氏の家庭も又圓滿平和にして幸に春風の靄然たるものあり、長男善雄氏は三十九年六月八日同市にて生れ家庭一層の和樂を加へたり



兵庫縣 路姫市

五百二十七

原籍地 飾磨郡高岡村

現住所 スポーケン市

藤森 晃

著者は本書を編纂する材料を得んとして、偶々鐵道労働に従事する場所に至れり、計らざりき藤森氏は鐵道ギャンクの組長となりて數十名を督勵し居れり、同氏は學識と云ひ又人格と云ひ其品性と云ふも普通労働者の組長とは大に其趣を異にせり、宜なり、氏の許にて労働するものは悉く學生にして、金を儲けて而して勉學するもの、みなんとは、氏も又一個の労働を以て甘するの士なからんや、云ふ勿れ 届するは即ち伸んが爲めなりと、氏の抱負や大なり、其行動や甚だ善し、顯くは異日成效の日に語らん。

原籍地 有馬郡有馬町

現住所 シヤトル市第五街四百十四番

清水 賢三

明治三十三年七月シヤトル港に上陸するや身を以て種々なる労働界に投し有らゆる苦辛艱難に遭逢し、明治三十八年に至り前記の箇所に勤務し日々怠らず勉勵せられつゝあり、其の傍決して勉學の精神を失はず、外國語殊に英語の研究に身を委ね居れり、青年時代の艱難逆境は光榮ある成功に到達するの徑路なりとせば艱難何を恐るゝに足らんや、逆境何を悲しむを要せん、奮勵一番進んで最後の勝利を獲得すべきのみ、而して氏や今日迄の難境に處し奮闘の勇氣滿々するを思はゞ他日の成功は大に見るべきものあらん、

原籍地 朝來郡生野新町

現住所 シヤトル市

行 商 濱岡 文治

明治三十七年北米ワシントン州シヤトル港上陸以來、暫時シヤクソン街浸禮教會に泊し、貯財の方法を講ずることに力を用ゐたり、而して語學の研鑽にも怠らず、餘暇を利用して尙ほ繼續し居れり、氏は日本に居住せしときは、吳服のことに經驗を有せられたるより、渡米後も商賣上に關しては、如才なく機敏なる行動のみ多し未だ店舗を張りて商業こそ營まざるも、其實質に至りては、獨立業者と擇ぶ所なし、胸間常に藏する氣力は自ら禁ずること能はざるべく、益々發展的行動に出づるや明かなり、

朝來郡

藤井 猛雄

三原郡

大野村 鳥居 建次郎
加集村 田中 哲四郎
福良町 芳 田 義 明
加茂村 茂久田 健三郎

指保郡

龍野村 吉 田 寛
平井村 内 海 久
龍ノ村 小 田 光 次
布施村 山 本 三 之 助
龍野町 香 山 昇
布施村 前 川 萬 作
新宮村 丸 山 與 兵 衛
神岡村 森 田 萬 次 郎

姫路市

新身町 國末 五三郎

船場小姓町

兵庫縣 川邊郡 美濃郡 出石郡 水上郡 城崎郡 津名郡 赤穂郡 明石郡 五百三十

木村九三藏

州本町

志築町

市瀬賢一
富本茂

川邊郡

尾崎町

萩原政次郎

赤穂郡

後藤廉吾

中谷村

福井奈良三

加里屋町

宮地亨平

美濃郡

細川村

安福文太郎

明石町

吉里米藏

西濱村

宮本芳太郎

明石町

近藤松之助

出石郡

出石町

植村常吉

明石町

明石郡

水上郡

黒井村

藤原湛然

城崎郡

竹野村

伊藤萬造

津名郡

青森縣

現住所 シヤトル市第三十一街

領事

久水三郎

P. O. Box 789 Seattle



シヤトル駐在帝國領事の管轄區域は左の如し
オレゴン州、ワシントン州、アイダホ州、
ワイオミング州、モンタナ州及アラスカの
諸地方なり、
領事領はシヤトル市第二街アラスアビルデ
ング第十三階にあり

原籍地 弘前市

現住所 シヤトル市

藤岡紫郎

明治三十一年北米カリフォルニア州桑港に上陸して、スクールボーイとなりて勉學し、グラマンヌクール、ハイ、スクールに入學して、五ヶ年間苦學し、而してニューヨーク市に出で、日米週報の記者となりて其手腕を振ひしが、三十九年シヤトルの知己より北米時事社の記者たらんことを談せられ、ニューヨークを辭してシヤトルに轉じ、一年餘北米の記者として健筆を振ひしが、偶々日米勞働者問題に關して一時歸京し朝野の有志を訪問して、此間に盡瘁する所多し、前途多望の身、幸に健全なれ、

原籍地 青森市米町一丁目

現住所 シヤトル市古屋商會内

商業 鈴木陸奥男

三十九年氏は東京高等商業學校卒業、同年十月商業研究の目的を抱ひて渡米し、目下シヤトル古屋商會に勤務せられつゝあり、渡米以來日尙淺きを以て鬱勃たる雄志未だ施すを得ずと雖も、前途の發展括目して見るべきものあらん、氏年齢猶少壯加之一ツ橋の校舍に磨き上げし學識と手腕は北米の商戰場裡以縱横無盡の活動を逞ふするに餘りあらん、知らずや吾人の奮闘は吾人の天賦を盡すの道たると同時に又人生の意義たる也、願くば眞正の成功を理想として堅忍不拔奮々現實の歩武を進められん事を、

原籍地 青森市浦町

現住所 シヤトル市

横山 確

明治三十九年北米ワシントン州シヤトル市に上陸するや、氏が渡米の目的たる農事に従事せんとし、身を斯業に投じ、星を載いて出て月を踏んで歸るとは、即ち氏が渡米後の行動なりき加ふるに鬱勃たる士氣は充満して押へ難く、筆を執りて同胞の現情を論じ、鋏を手にして雄志の存する所に進撃し、一貫の希望は渡米前と何等の變更なし、華州農事會員となりて、益々此間に活潑なる行動を繼續し、只管時期の來るを俟つもの、如し、十年の歲月間には恐く成効者の一人なるを疑はず。

青森市

中原敦忠

東津輕郡

蟹田村

石岡彦一

南津輕郡

黒石町

境 八百四郎

上北郡

三本木村

大坂力次郎

下北郡

大光寺村

川原政憲

大港村

佐藤文吉

宮城縣

原籍地 栗原郡若柳町百〇一番

現住所 シヤトル市メーン街五百六番

雜貨商

菅原 敬

電話メーン 七二一三
インデニ 二六九四



明治三十五年十月シヤトル上陸モンタナ州に赴き
鐵道に勞働する事一ヶ年半余、再びシヤトルに歸
り勉學の爲めスクールボーイとれり、三十七年
五月ジャクソン街五百十二番に菓物商を開けり、
爾來大に事務繁榮に赴き家屋の狹隘を感ずるに至
りしを以て、前記メーン街に移轉し店務一倍の繁
忙を加ふるに至れり先年十月妻女を迎へられ、共
に幸福平和の生活を送られつゝあり、

原籍地 登米郡佐沼町

現住所 タコマ市南第十三街八百十七番

牧師

高橋 熊太郎 兼

電話ブラック 五七二



明治三十七年五月北米ワシントン州シヤトル市港
上陸、直ちにタコマ浸禮教會を牧する筈なりしが、
教會内部の事情の爲めに赴任せず、一年間個人間
に傳道して好成績を得、身に寸暇とてはなし、シ
ヤトル市浸禮教會の爲めにも大に力を盡し、三十
九年タコマ市の浸禮教會を再興するに關して、氏
は滿腹の勇氣を持して同教會の内外を整理し尤も
困難なる境に處して、着々好成績を挙げ、教會を
して信頼せしむるに足るの基礎を造れり、勞や大
なりと云ふべく、益々祝福の加はらんことを祈
る、

原籍地 桃生郡野蒜村

現住所 シヤトル市

學生 阿部 俊吾

明治三十七年十二月北米ワシントン州シヤトル港上陸、爾來スクールボーイとなりてグランマスクールに入學し、未だ嘗て學事を廢したることなく、其眼光の尖きことは小兒をして感服するに足るべし。

鐵肝と號し、少壯の一青年筋肉逞しく磊々落落又天眞を發揮し、書生の模倣を現はして遺憾なし日常スクールボーイとなりて勉學に餘念なく自ら學理の蘊奥を研鑽せされば止まざらんとす、眞に之れ洋々として大海を行くか如し、只其れ奮勵のみ、

仙臺市

横田 謙

遠田郡

淺野 利覺

佐々木 長七

三浦谷村

伊達郡

牛澤 鶴三

西根村

刈田郡

片平 佐太郎

福岡村

名取郡

内海 茂

東多賀村

志田郡

藤門 辨吉

三本木町

鈴木 直次

同

桃生郡

高橋 清八

赤井村

岩手縣

原籍地 西盤井郡日形村

現住所 シヤトル市メイン街平出商會

商業

小野寺 源五郎

牧畜事業の研究及經營は氏が多年渡米の目的たる也、明治二十九年渡航するや、同事研究の爲めトンラツブルに牧畜業に従事する事一年に及び、其の後サラスパークに轉じ、三年間同業を經營せしも不幸にして皆目的を達するに至らず、目下平出商會支配人たり、されど氏は失敗したるが爲めに當初の目的を抛棄したるに非ず、只事情止むを得ざるが故に一時中止せしに過ぎざるのみ、他日資金を得るに至らば再び經驗ある同業を開始し大に其敏腕を揮ひ斯業の成功を期せらるゝや必せり、

盛岡市

鷹近小路 原七五三助
仁王小路 田中武次郎

西盤井郡

日形村 小野寺豊助
中里村 及川新太郎
一ノ関町 吉野眞澄

膽澤郡

水澤町 吉田秀穎
永岡村 阿部捨吉

九戸郡

小輕米村 阪本七郎

東京府

東京府より海外旅行券を下附せられ、渡航するものありと雖も、而も玉川の水を飲んで生育せし江戸子は甚だ少なし、恐く本書事情に掲載したる大半は江戸子の部には入らざるべし。岡崎福松氏は西北部地方に於ける同胞の發展に就て多大の力ありしは、言を待たざる所、其他個人として、獨立業に従事し、奮勵の道程中にあるものは、本書に録したる以外には甚だ少なからん農業上の事業に従事するものも又少なし、東京神奈川附近より渡航する渡航者は農事上にて成効するもの稀なるべし、本書に記載洩れの人名も多からん、されど一々之を調査するは寧ろ不可能なり、自ら氏名を言はざるもあれば、又記載せらるゝを耻辱とするものあり、

東京府 麹町區

五百四十

原籍地 麴町區飯田町

現住所 シヤトル市シヤクソン街浸禮教會

牧師 岡崎福松

西北部地方に於ける同胞間にありて、同氏を知らぬものは甚だ稀なり、十八年前桑港に航してコロラド州の片田舎の白人家族の間にて三ヶ年勉學を怠らざりしかば、語學の進歩も著しく此間に處して一人の日本人と交際する機會なかりしと聞けり、當時齡僅に十八歳、異郷の空に彷徨して白露を以て宿とし、一片のパンと水を以て僅に糊口を凌ぎたりしと、

されど氏も少年時代は心靈界の士にあらずして、宗教上の信仰も甚だ薄弱なりしが、一度己に歸りて其立場を得、一身を献げて神の爲めに犠牲とならんとする高遠の擧理に接觸し、別人となりて世に現はれたりと云ふも不可なけんシヤトルの浸禮教會を設立するに當り、自ら草鞋を穿ちて東奔西走、基金を集め、自ら鋸をとりて土臺を造り、大工、左官を一身に引受けて以て教會を建立したる効は教會の活歴史なり、而して一班同胞の爲めには常に内外人の間に立ちて盡す所多く、渡航者上陸の際の如きは移民官の囑託に應じて通譯の勞を執り、同胞囚人保護に關することまで、氏の手を煩はさぬものなし、

即ち西北部日本人發展の活歴は少なくとも氏の力に負ふ所あるを許すなるべし、益々健全を祈る、

原籍地 下谷區谷中坂町廿八番地

現住所 シヤトル市メーン街五百十番

酒類及雜貨輸入商 説田嘉市

電話A一四四九番

明治卅五年七月シヤトルに上陸するや直ちに同市第五街に於て雜貨及菓物店を開き、其後卅七年に至りメーン街二百七番館の洋酒店と共同し日本酒の

輸入販賣に従事しつゝありしも、氏が誠意勉勵の結果業務益々隆盛に赴き、三十九年一月前記の所に移轉し茲に盛大なる和洋酒販賣に従事するに至れり、其の傍雜貨類の輸入を計り兩々相俟つて愈繁榮の域に進みつゝあり、有ゆる困難に打勝ち今日あるを見るに至りしはシヤトル市同胞中敏腕家の一人物として讚稱するに足る、而して日米肥料會社の役員として益々事業界に現はれ、其發展も



大に注目するに價す、

東京府 下谷區

五百四十一

原籍地 東京市本郷區

現住所 ポートブラクレー

眞寫業

高吉 爲五郎 妻帯



北米に渡航して數ヶ年、空拳にして一事業を起さんとするは、措子なくして階上に登ると同一なれば、先づ資力を貯積するを以て最大急務なりと信じ、身を勞働界に投じて妻子を養ひ、傍ら寫眞術を研究し居れり、氏が寫眞術を稽古したるは、眞の自力に據りしものにて、茲に掲載せしものは、抑も寫眞器を購入せし當時に於て自ら撮影したるもの、今や技術大に進みて同地附近の白人及同胞は氏に依頼して撮影せしめ居れり、何事も熱心を以て成らざるものなし、同地に於ける青年團體の會長として、又兒童教育の事にも多大の盡力をなし居れり、

原籍地 日本橋區坂本町三番地

現住所 シヤトル市メイン街四百十四番

齒科醫 力丸元長

電話インデ
L二六〇八

氏は東京高山學校を卒業し三十四年シヤトルに上陸、同市シヤクソン街に於て齒科醫を開業し業務愈々繁盛に赴き場所の狹隘を告ぐるに至りしを以て更に前記の所に移轉し同業を營み居られしが氏の斯學に熱心なる自ら其蘊奥を探り飽くまで修養せずんば止まざる精神を決し、日ならずして同學研究の爲め東行せらるゝ由、氏の決心の凜固たる世の滔々たる輕薄者流をして、愧死せしむるに足る、幸ひに自愛自重して他日大に斯學の爲めに盡瘁する所あれ、

原籍地 日本橋區西河岸町二番地

現住所 スポーケン市美以教會内

學生 小筆英三郎

明治三十三年九月渡米、上陸後氏は専心一意學業の修養に勉勵し、目下スポーケン市美以教會の幹事及同市に於ける禁酒會の會長にして、一面學事に修養せらるゝと同時に他方面同胞の心靈上の救済に従事せらるゝ、渡米の人士中往々にして自己が辛苦艱難の結果蓄積せし富財を以て、腐敗墮落に陥るもの尠しとせず、此際熱意誠實心靈上の福音を宣傳し我同胞を滔々たる罪惡の渦中より救ふは現下の最大急務也と信ず、而して氏や今献身的に此事業に従事せらるゝ、他日必ずや著大なる感化を在米邦人に及す者あらむ、

東京府 本郷區

原籍地 本郷區湯島三組町八十番

現住所 シヤトル市メーレン街二百六番

洋服裁縫

五百四十四

八 柳 政 重
同 サ ヨ

電話インデA一四四九

明治三十五年五月北米ワシントン州シヤトル港上陸、獨立自營者たらんが爲めには、一藝を習得するを策得とす、洋服裁縫を稽古して、立身の基礎を造りしは即ち奮闘の第一歩たり、一個の獨立業者となりて、八柳洋服店を開始し業務益々盛大を來たしは即ち處生行路の第一歩たり五ヶ年の歳月短しと云ふあらざるも、氏が胸中の成効は今後にあらん、同氏が店務の熾なるは十目の知る所にして、吾人は進んで成効者の一人と爲られんことを望むや切、



原籍地 本郷區本郷二丁目廿二番地

現住所 シヤトル市第五街二百十五番

新聞記者 大磯 藤 吉

氏は卅八年十一月英領晚香坡に上陸するや直ちに桑港に赴きしが、間も無くして彼の被害の慘烈なる世界の人心を驚駭せしめし桑港の震災に遭遇し、幸ひに身体何等の異狀を被るなく、其後シヤトル市に來りノールス、アメリカン、タイムス社に入社せらるゝ事となれり、氏文筆の素養淺からず、文章亦流麗暢達にしてタイムスの紙上は氏の練腕に依つて錦上花を添へつゝあるは邦人の熟知する所也、氏幸ひに益々奮勵努力して大々の氏の特色を發揮し、同時に又我國人の光榮をも發揮せられん事を囑望に堪えざる也、

本郷區

春木町

駒込

同

湯島三組町

駒込

河崎 眞 吉

會良 三 郎

中 限 正 二

八 柳 政 重

丸 山 胤 泰

東京府 本郷區

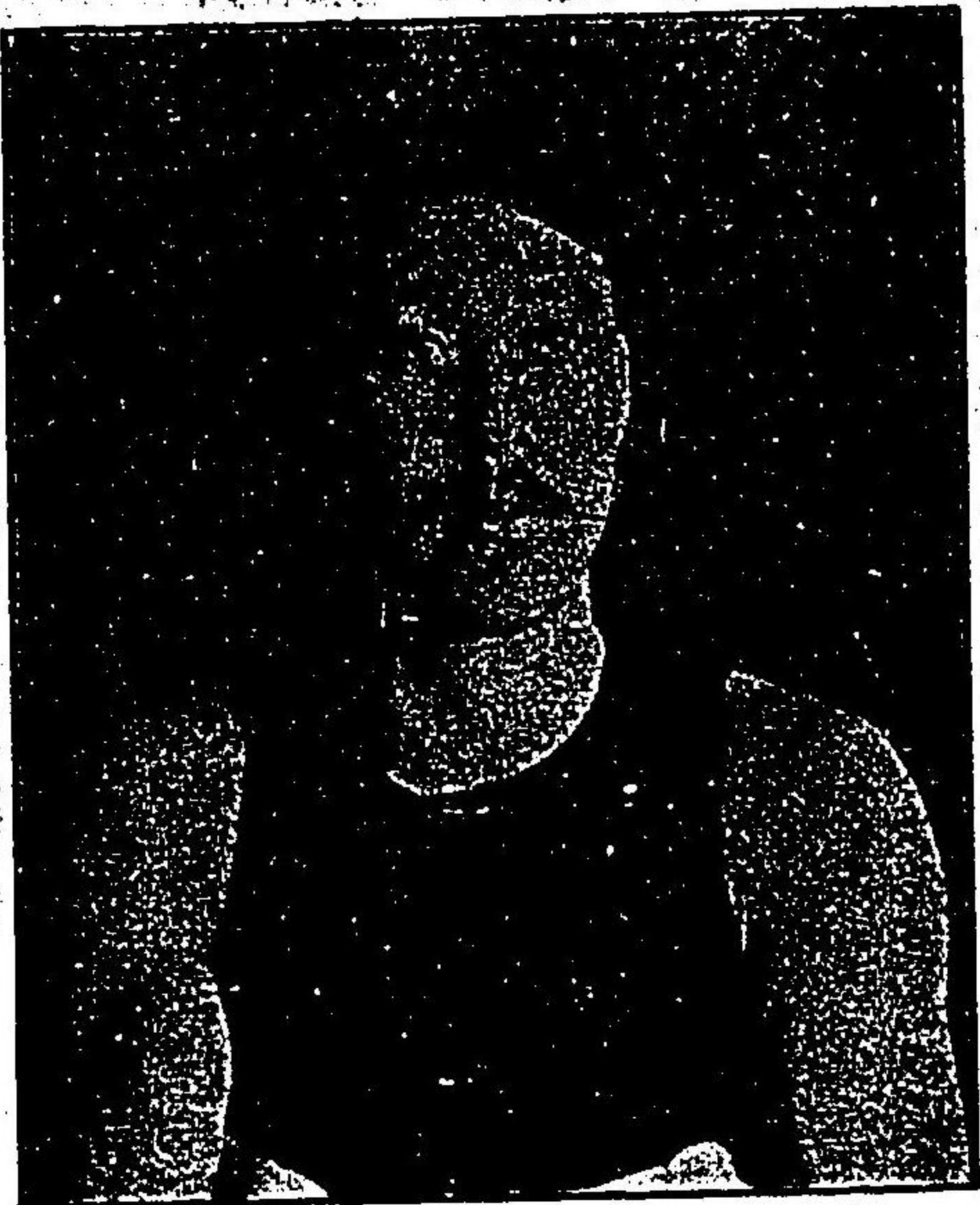
五百四十五

原籍地 牛込區原町二丁目五十七番地

現住所 シヤトル市ヂヤボン街六百六十四番ヂヤボンホテル内

柔道 河野 顯 威

卅八年シヤトル上陸、氏は講道館二段の免許を有し上陸後暫くにして道場を開き、近頃は白人の門弟を合せて數十人に上り、YMCAは氏を聘して特に柔道の一課を加ふるに至れり其外個人の自宅教授に赴き非常の多忙を極められつゝあり、氏亦水泳術の蘊奥を極め居られ今夏水泳場を開始せらるゝと聞く、品行方正意志堅實にして能く辛酸に堪へ品性の清廉なる氷雪の玲瓏なるが如しと、又門下生を遇するに極めて丁寧親切に其温情親子兄弟の如きものありと云ふ。



原籍地 牛込區若宮町

現住所 シヤトル市シー街千三百七番

學生 稻垣佳之助

三十六年十二月シヤトルに上陸爾來氏は専心一意學術の研究に従事し、今日に至る迄猶一日の如し、渡米の人士中最初學術研究の雄志を抱きし者が困難に遭遇するや忽ちにして其素志を一變し商業乃至勞働等に従事する者尠しとせず、併し乍ら一業に成效せざるの人は又他業に成功する無く、遂に轉軻落魄して四方に流寓するに至る、意志の堅忍不拔なる同氏の如きは如何なる境遇に包圍せらるゝ共斷じて自己の素志を變せず不撓不屈の精神を鼓吹して奮勵し居らる、以て渡米學生の模範として讃稱するに値す、

牛込區

新小川町
馬場下町
五軒町

保木 忠藏
澤出 哲治
木村 種吉

原籍地 淺草區猿屋町

現住所 シヤトル市ジャクソン街浸禮教會

平川基八 妻帯

十七年前北米ワシントン州シヤトル市上陸、爾來
 ポートブラクレーに住して、勞働者の先輩と仰が
 れ、公私の間に盡力し居たり、而して同所に基督
 教會を設立し、同志の士と謀りてシヤトル市の浸
 禮教會と連絡を通じて、勞働者の心靈上に貢獻し
 來りしが、三十九年シヤトル浸禮教會の幹事、夜
 學校の英語教師となり、同教會の爲めに全力を傾
 注し居れり、氏の如きは即ち溪谷に咲き來りたる
 梅花にして、山高く水は清く又一點の曇りなし、
 努めて有益に行路を送らんとて、其氣力の旺盛な
 るあり、只之れを外觀に現はさるのみ、



原籍地 四谷區内藤新宿

現住所 ベリソングラム市

竹細工 島津幸吉 妻帯

今を去ること十二年前、北米に渡航し、獨立業者
 となるまでは、シヤトル市の古屋商店にて斯業を
 取扱ふ一人となられし時代もありき、

現住所に移轉して竹細工營業を開始せしは數年前
 のことにして、同市に於て竹細工業を經營するも
 のは氏を措ひて他に一人もなし、寧ろ西北部に居
 住する同胞にして、日本より細工物を輸入するも
 のこそあれ、自ら製品となして販賣するものある
 を見ず、目下の所は普通の商賣に過ぎざるも、日
 を追ふて盛大に赴くは慶賀すべし、努めて竹細工
 の眞價を發揮せられたし、

原籍地 深川區猿江裏町十二番地

現住所 ポートブレイクレー十六番

久我保雄 妻帯

明治廿七年氏はシヤトルに上陸し、上陸以來前記
 ポートブレイクレーに於ける製材會社の勞働に従
 事せられつゝあり、渡米以來氏は種々なる方面に
 自己の素志を變更する事無く、一意専心同社の爲
 めに盡瘁せられ、今日に及んでは多額の蓄財も出
 來大に將來發展の基礎を固められつゝあり、氏は
 今粉骨碎身勞働に服せらるゝは、只之未來の開運
 に資する所あらむが爲め的手段たるにすぎず、
 氏も獨立自營者となりて其素志を貫徹すること
 は敢て難事にあらざるべく、益々進んで勇躍せ
 よ、

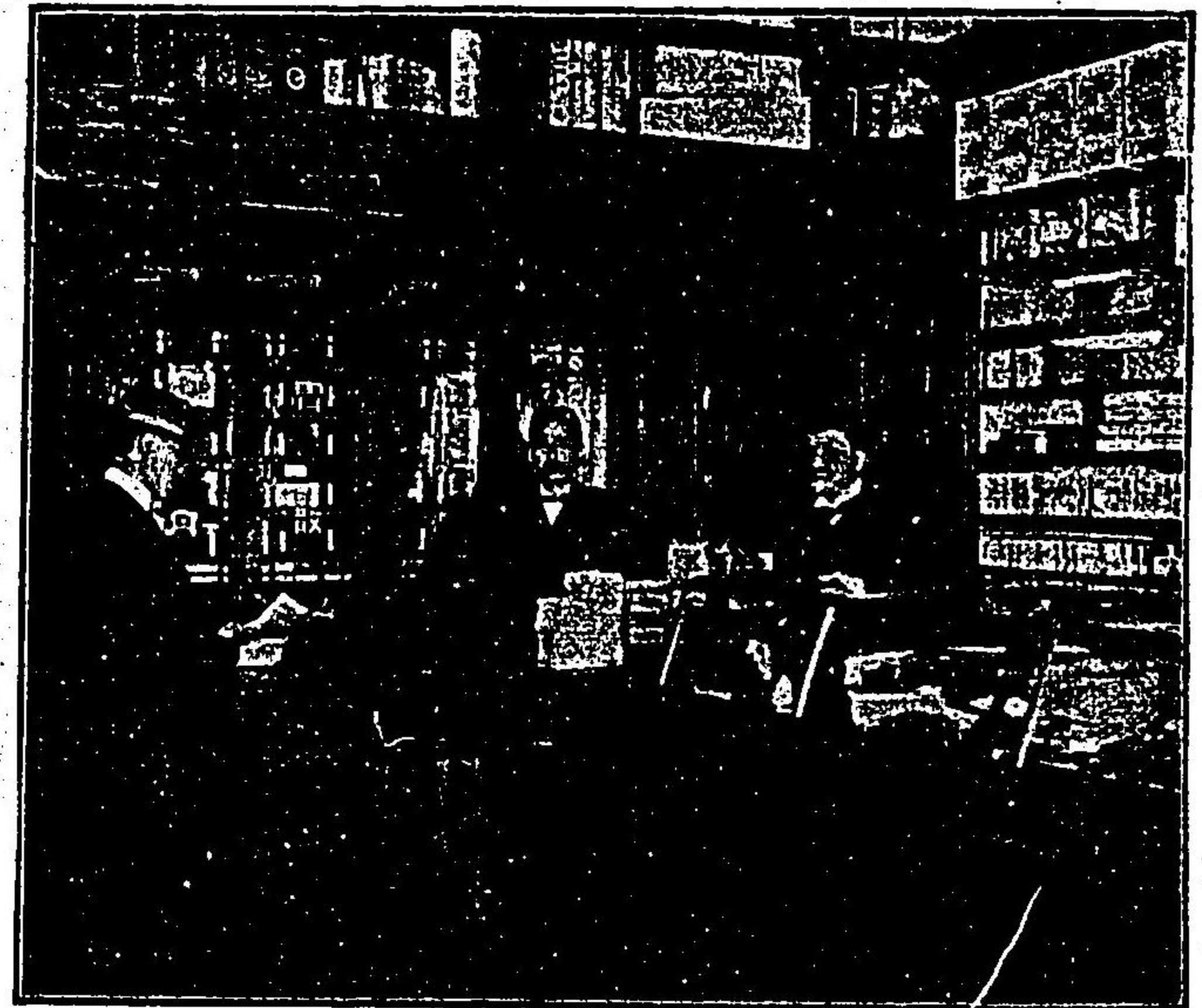
東京府 小石川區

原籍地 小石川區小日向若荷谷町二十番地

現住所 シヤトル市メーレン街五百六番

五百五十

内外賣藥商 折原定吉



三十五年十月晚香坡に上陸してシヤトル市に來り、種々なる勞働に従事せり、之れ偏に氏が獨立自營の資金を貯蓄する手段たりしなり、氏は元來賣藥營業に關し充分の經驗を内地にて積み居りければ、其の蓄積せる資金を以て遂に唯一の目的たる賣藥取引の營業を開始するに至れり、勿論氏が日頃の實驗を發揮し萬事詳細なる注意を加へし事とて業務益々盛大に赴きつゝあるは吾人の言を俟たず、加ふるに氏の開店は我日本人の同胞に多大の利便を與へ居れり、

原籍地 芝區烏森町一番地

現住所 シヤトル市南第五街二百十七番

日本料理 高橋末吉

電話R三〇八九

明治三十七年一家を擧げて北米シヤトル港に渡航し、身に練へたる料理店を南第六街に開業り、屋號を「うら梅」と乙に搦みたる名稱を付したるも一は、烏森時代の「うら梅」を其儘に用ひしものと聞けり、商賣に不似合なる程頑固なれば從て評判もよく、三十八年七月現住所に移轉して、益々繁昌を極めつゝあり、

妻かめ子、長女しん子、三男房太郎、四男春吉諸氏は力を一にして營業の繁昌を計り居れり、バスター臭き所にて刺身とあつ欄の馳走は餘り否やな心地のせぬものなり、

東京府 芝區 西多摩郡

原籍地 西多摩郡西多摩村

現住所 シヤトル市ジャクソン浸禮教會

坂本一郎

數年前に北米ワシントン州シヤトル市上陸、尤も有益且つ前途發展の用意をなしたるは、即ち氏ならん、渡航したる際は語學の素養なかりしも、自ら小學兒童となりて奮勵せし氣力と勇氣は氏の價値の眞偽を判するの左券なり、

一刻の時間も空費せず、其短所を改むるに吝ならざるは氏が性格の長所にして、克己力に富み飽くまで勉勵するは確に後進青年の一摸範たり特に本書に對するワシントン州の各方面に關する調査は氏の手に依りて一ヶ月間圖書館を調査し、多大の勞力を費やされしを謝す、

五百五十一

和倉町

深川區

久保田留吉

宮下町

高橋熊吉

本所區

川島茂一郎

山林町

高橋三吉

仲ノ郷

金子周助

春日町

內山茂太郎

若宮町

高橋信彦

水道町

布施清

林町

酒井六太郎

同

安部章之

橫網町

平田貞吉

元大工町

三宅高康

三ツ目町

松橋孝之助

濱町

伊東兵吉

山谷町

鈴木義雨

小田原町

香川當太郎

南元町六

田知外次

南八丁堀

池田嘉藏

柳町

澤田虎雄

日比谷町

板橋德三郎

新堀町

星山宇之助

下八丈島三ツ根村

春日兼太郎

金杉町三

河野德太郎

木挽町

土屋貞平

愛宕町

八町五郎

芝區

岸本藤太郎

鳥森町

宮野龜吉

下落合村

原信太郎

西久保櫻田町

平岩英孝

千駄ヶ谷村

春日兼太郎

佐柄木町

岩名常次郎

豊多摩郡

栗原萬五郎

西小川町

飯田孝壽

北多摩郡

遠藤大亮

末廣町

岡部登

千歳村

花形正三

皆川町

木島儀三郎

東多摩郡

關澤安次郎

三崎町

鹿島ツル

本郷村

小原ロク

赤阪區

葛目清司

荏原郡

永原良藏

青山南町一丁目

青木精誠

元居木橋村

中澤政五郎

下谷區

龜井仙太郎

品川町

小笠原島

稻荷町

柳信忠

父島

大島

西黒門町

被浮湊

被浮湊

奥山松助

中根岸町

東京府

芝、神田、赤坂、下谷、豊多摩、北多摩、東多摩、荏原、小笠原島、大島

五百五十三

福島縣

原籍地 西島郡大沼村大字本沼

現住所 シヤトル市メーン街

東洋銀行支配人

荒井達彌 妻帯



明治十七年十月桑港上陸 加州に止まる事二年をそれより華州に来れり、滞留中本國に歸朝せし事前

八回其間氏は朝鮮に滿州に或はサイベリヤに漫遊し、商工及一般の生活状態を視察し大に識見を博ふせり、在米中は太平洋沿岸の各州東部はワシントン府を初め、ニューヨーク、セントポール、ヒラデルヒヤ、シカゴ各州に滞在せり、明治廿二年タコマ市に入りレストランを開業せり、之該市に於ける本邦人營業の嚆矢なり、目下東洋銀行の支配人として金融の衝に當り他日其の豊富なる經驗を以て一大成功を期せられん事を望む。

原籍地 伊達郡陸奥合村大字成田

現住所 スポーケン市

片平運四郎

妻帯

當初布哇に航し、三十九年三月華州シヤトルに來り、モンタナに行き、同年八月スポーケン市に來りて、東洋貿易會社配下の許にて大北鐵道會社スポーケン所屬の器械工場に入り、致々營々として業務に奮勵し、専心資金の貯蓄を爲し居らる、目下一ヶ月三十弗乃至五十弗の貯蓄ありとの事なれば、遠からずして充分の資金を得獨立業者として活動せらるゝ事ならむ、人苟しも忍んで艱難に耐へ、努めて倦まざるの精神あらば、最後の勝利を期する易々たらんのみ、幸に自重自愛する所あり、

原籍地 石城郡平町

現住所 シヤトル市

猪瀬政雄

明治三十四年六月北米ワシントン州シヤトル市に上陸、未だ獨立業者たらずと雖も、恐く自營者たるの日あらん、吾人は自營者となるを希ふもの、一人なるも、只時期と方針の如何にあるのみ、男子志を立て、郷關を出づ、何等の得る所なくして又郷里に歸ることを得ずとは、均しく唱導する所の常套語なり、知らず、氏が胸中の抱負は何物ぞ、特に本書の編纂に關して勞力を費し助力したる一人也、

原籍地 岩瀬郡須賀川町

現住所 シヤトル市メーナード街東郷ホテル内

通譯、代理業

大原 武雄

桑港より一轉して東部に至り、ニューヨーク、シカゴの各都市を視察し、三十八年シヤトル市に出でしが、氏は八年前の渡米者にして、スクトルボーイとなりて、勉學に志し、學校生活をなして語學の素養を得、沙市に於ける同胞間にありては屈指の一人なり、

シヤトル市にては一度商店員となりて日本人部主任たりしこともありしが、之れ等の關係を辭して、通譯、代理等の法律事務に従事し、傍ら商會より商品販賣を囑託せられつゝあり、公共團體員としては東北人會の評議員たり、



原籍地 安積郡郡山町

現住所 シヤトル市エスラウユニ街八百十九番

洋服

柏木 要藏

電話インデ
A二五六四

明治三十三年十月北米ワシントン州に渡航、上陸後氏が渡米の目的たる商賣上に力を用ひ、一藝を練磨することの切なるを感じ、爾來一意専心洋服裁縫を習練したり、其志せし所甚だよし、身に練磨したるものは如何なる場合にありても、他の奪ふ所とならず、處生の活路に於て之れ以上の方法なく、裸体にして而して饑ゆるの憂なし、益々奮闘を持続せば、業務の盛大を視るは云はずとも哉、將來の開運は期して待つべきものあり、

若松市

白銀町

佐藤壽六郎

安積郡

山ノ井村

磯部 駿

同

喜久田村

森尾 毎通

雙葉郡

熊野村

半谷 弘重

富岡町

渡邊 保助

信夫郡

田中町

松崎 金助

飯坂村

福原勝三郎

伊達郡

茂庭村

今野 富治

………

大坂村

齋藤 清松

福島縣 安積郡 若松市 雙葉郡 信夫郡 伊達郡

福島縣 石城郡 相馬郡 大沼郡

五百五十八

石城郡

平町
好間村

北村 修
鈴木 亨

相馬郡

小高町

小畑要之助

大沼郡

本名村

渡邊 敬

石城郡

平町

北村 修

千葉縣

原籍地 長生郡日吉村字針ヶ谷八百九十番地

現住所 シヤトル市第六街ニユーヨークホテル

三橋 長松

三十六年十月シヤトル上陸、先づ商業視察の爲めアウストラリヤ及マニラに航す、其の後暫く勉學に従事し或は酒屋のボーターたり、或は家内労働に服せし事あり、或は又商店員として實務に鞅掌せし事あり、此の間に於ける氏の苦辛艱難は實に慘憺たるものあり、然れ共丈夫苟しくも志を立て、北米の天地に向ふ、眞正の成功を期待する戦士の面前に艱難何者を辛酸何者を氏は確固たる自覺の上に立ち百敗猶屈せず猛烈なる人生の奮闘を持続すれつゝあり、資金の蓄積を待ち大々發展をなすの計畫中也、

千葉縣 君津郡

原籍地 君津郡久留里町

現住所 シヤトル市デキスター街二千廿六番

五百六十

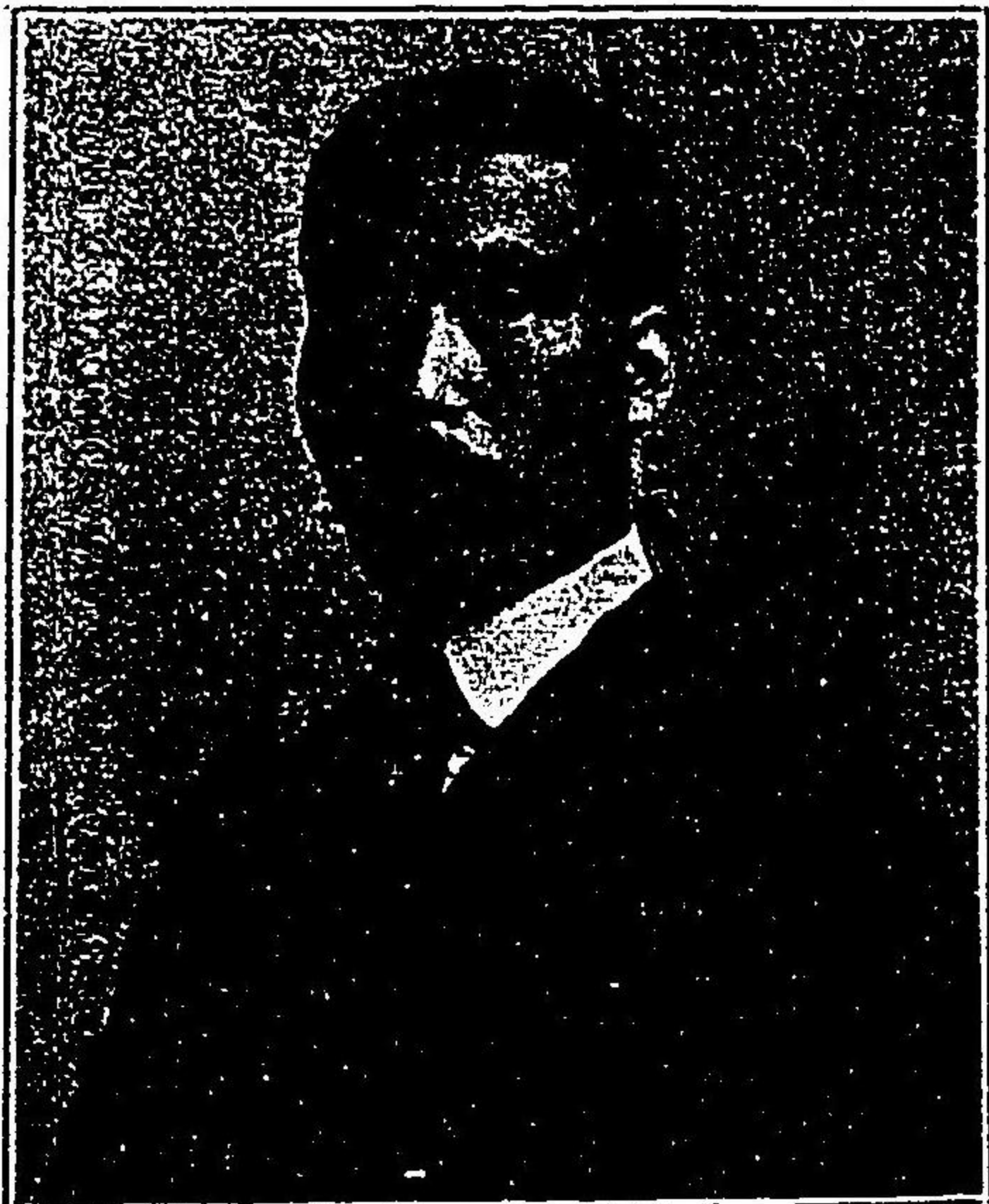
齊藤 巖

電話 サインセット 七五五

明治三十七年十二月末日北米ワシントン州シヤトル上陸、爾來勉學もなせば勞働をも爲し、一日の偷安なし、而も其識見と云ひ思慮と云ふも透徹して誤ることなきは、氏を識るもの、均しく感知する所ならん、

一度は東洋銀行に事務を執りしも、事務上の筆生的仕事は氏の長所にあらずして、一事を案出し組織し守成するは氏の長所たり、

シヤトル市の青年団体たる甲辰會には幹事となり知友には推服せらるゝ一人なり、一度風雲に乗すれば恐く三軍を指揮する雄將たり、



夷隅郡

古津村

東皮村

布施村

大原町

市京郡

白鳥村

島野市正

石野林三
大野衛司
酒井常五郎
庄司賀彌

印幡郡

川島昇

君津郡

八重原村

木更津町

香取郡

栗原村

吉川静雄

長生郡

一宮町

八積村

安房郡

天津仲町

嘉川得次郎

海上郡

銚子町

同

(學生)

天野正十九
神宮寺源次郎

山武郡

豊岡村

若梅純義

千葉縣

夷隅郡君津郡長生郡海上郡山武郡市京郡印幡郡香取郡安房郡

五百六十一

香川縣

原籍地 仲多度郡琴平町

現住所 ベリントンハム市コンマシヤール街

北 庄 三 郎



明治三十三年三月北米ワシントン州シヤトル港上陸、同市にありて三ヶ年間語學の研究に従事し、進んで一個の獨立商人たらんとして、或る時は商會に雇はれ、以て自己の獨立を計らんことに努めたり、然りと雖も獨立業者となるには先づ資力の準備なかる可からざるを自覺し、營々として貯財に従事すること四ヶ年に及べり、今や進んで内外の輸出入を爲さんとして、計劃已に熟し、目下備進中なりと云ふ、

原籍地 香川郡弦打村

現住所

農 業 北村榮太郎

明治三十三年五月北米に渡航し、先づ資力を貯積して然る後一事業を起さんと決心し、苦心經營甚た努むる所ありし結果、遂に農事を營むことを得たるは、全く氏の熱心なる希望に外ならず、記者の不注意より現住所を記入することを見失ひたるは粗漏の罪甚た大なるもの、茲に其罪を謝す、農事のごとは十星霜を経て始めて稍々視るべき位置に達すべし、只堅忍不拔、飽くまで其素志を貫徹せよ、

香川郡

雉雄村

同

………

下笠井郡

同

池西村

西通り

麻町

苗羽村

田中村

牟禮村

石本庄太郎

岡本初太郎

大西佐太郎

高橋與八

谷澤金吾

島崎宇吉

米谷彦次郎

岩本金助

山田岩太郎

小豆郡

丸龜市

木田郡

長山富次

結城朝繁

五百六十三

香川縣 綾歌郡 大川郡 三豊郡
半禮村 結城輝彦

五百六十四

綾歌郡

板出町

植田喜治郎

同

宮崎耕二

松山村

楠下清水

大川郡

鴨部下庄村

菊地信太郎

三豊郡

杵田村

脇 榮太

大見村

三谷鹿之助

埼玉縣

原籍地 北足立郡小室村
現住所 シャトル市ワシントン街

内村 啓 三



明治三十三年六月北米ワシントン州シャトル港上陸、四年の歳月を以て一意専心貯財に従事し巨額の資力を造りて、以て知人に一事業を經營せしめたるは、中々機抜なる行動と云はざるを得ず、橋口商店の顧問世話役となりて、守成の才力を揮よの器略に至りては、敬服に價する所あり、寧ろ同氏は建設的頭腦よりも、事業の性質を甄別し、而して資力を投ずるの勇氣と果斷は學び易しからざる特長なり、氏の幸運を卜すべき時代は未だ尙し、されど開運は氏の頭上に落下せり、多望の身有望の一人として吾人は紹介す、

埼玉縣 北足立郡

五百六十五

埼玉縣 北足立郡 埼玉郡 南埼玉郡 大里郡 入間郡

五百六十六

與野町
上平村
同
指扇村
藤川村

石川贊之助
神田繁太郎
神田幸四郎
小山四郎
青木春吉

出羽村
川俣村

吉田孝治
山崎况範

平野村
岩槻村

石井三雄
田中保

泰村

大里郡 横山正一郎

大井村

入間郡 内田農次郎

秋田縣

秋田市

大町

風間新助

中城間村

中頭郡

冲繩縣

比嘉良重
德元佐郎

岩殿村

山本郡

吉岡賢秀

舟川港町

南秋田郡

泉政吉

秋田縣

秋田市山本郡南秋田郡

冲繩縣

中頭郡

五百六十七

北海道

原籍地 札幌郡苗穂村
現住所 スポーケン市

學生

畑 敏 夫

明治三十六年北米ワシントン州シヤトル港上陸直ちにスクールボーイとなりて小學校に通學し咄語の聲は化して、一年ならざる内に講壇より英語の演説を聞くに至れり、飽くまで書生風にして一點の邪氣を帯びざるは、吾人の意を得たるもの、更に一轉してスポーケン市に至りて田舎の小學校に通學し、日本人と交際を絶ちたるは、深き思慮の存する所にして、英語の發達は之れ以上の方法なし、目下スポーケン市のハイスクールに入學して學界の士たらんとす、奮發奮々、

札幌區

南五條 淺野 徳次
北一條 吉田 清壽
北二條 町村 敬貴
北四條 住谷 信一

函館

地藏町 永井 音次
若松町 信山 近之助
天神町 窪田 禎二郎
大黒町 廣野 由太郎

釧路厚岸郡

多布村 明下 一郎

上川郡

美瑛村 藤本 三郎

松前郡

福山町 吉田 賢吉

北海道 札幌區 函館區 釧路厚岸郡 川上郡 松前郡

栃 木 縣 宇都宮市

栃 木 縣

五百七十

原籍地 宇都宮市日野町

現住所 ベリングハム市コンマシヤール街千二百十七番

旅 館

丸 山 保 藏 妻 帯



三十四年五月北米ワシントン州シヤトル港上陸、獨立業者たらんとして西洋料理を積古すること年あり、西井久八氏川井徳平氏の料理店にも働き、半ば合同的なりしも同店を辭して方針を立てんとする際、三十五年四月ベリングハムへ食料品、雜貨商店を營業する筈なりしも、暫時之を中止して旅館業を開始し、傍ら輸入物品の販賣に従事し居れり、氏は公共団体には頗る力を用ひ、同地方同胞の先輩者として、内外の公事に盡す所多し、齡未だ三十代の少壯者なれば、前途の有望多福なることは又云ふべきにあらず、幸に自愛せよ、

原籍地 下都賀郡次上村大字吹上

現住所 スポーケン市

大 瀬 清 藏

氏は最初布哇に渡航せしが三十九年四月、北米シヤトルに上陸し、間も無くスポーケン市に來り東洋貿易會社配下の許にて勞働に従事し、將來獨立自營の準備中なり、權謀術數を弄して不正の富を積むは難事也とせず併目的の爲めに手段を擇ばざるは氏の欲する所に非ず、茲に於てか氏は斷然決する所あり、自己の額に汗し勇戦奮闘以て真正の成功を獲得せんと企てたり而して氏が堅忍の氣象はやがて充分の資金を蓄積し自主自營の獨立業者として他日眞面目なる實業に従事せらるゝや疑ふ可らず、

栃 木 縣 下都賀郡

五百七十一

原籍地 下都賀郡

現住所 シヤトル市シヤクソン街浸禮教會

學 生 小 森 谷 爽

明治三十五年北米ワシントン州タコマ市上陸、爾來一意専心學事にして、タコマ市の小學校に通學して、勉學しつゝありしが、更にシヤトルに轉じてスクールボーイとなりて、グランマスクールを卒業し、三十七年ハイスクールに入學するを得たるは、氏の學力の進歩も又普通にあらず、特に氏は文學上には非常の趣味を以て餘暇あれば、文筆を事とするなり、宜なる哉、氏の學究は文學なるに於ておや、飽くまで勉勵通れの文學者たらんことを期待す、

原籍地 下都賀郡吹上村

現住所 シヤトル市

酒井長次郎

渡米の前に當り三年の歳月を布哇に費せしが、同地を以て志を爲すの地に非すとなし、三十九年四月シヤトルに上陸し、東洋貿易會社の配下に勵し目下貯財中なり、氏が今日に至る迄の経歴と將來の志望とは多數の渡米人士の目的と同じく眞面目なる勞働を以て資金を積み以て獨立業者として將來社會に立つにあり、之を口にする頗る易々たりされど之を實行するは非常の勇氣と忍耐とを要す、假令其の歴史は英雄偉人の其の如く青史を飾らずと雖も實着なる思想は健全なる國家の基礎たる可き也、氏夫れ努めよや、

下都賀郡

大宮町

國分寺村

同

萩原源助
大出喜七郎
山中春造
山中幸三郎

原籍地 足利郡北郷村

現住所 ビヤロツプ

農業

中山八重吉

同

中山英三

兄弟共に力を一にして一事業を起さんとするは美點なり、令兄八重吉氏は二十九年の渡米者にして、渡航後は幾多の辛酸と戦ひ、奮勵嘗て怠る所なし、令弟英三氏は三十七年渡米し、共に農事に志せしは、吾人の双手を擧げて賛する所ビヤロツプ、インデアン、レサーヅエーションの地をトシて農事を經營し居れり、

農事の事は他の仕事に比すれば寧ろ困難にして、華州に於て續々此種の事業家を視るは、同胞發展の先鋒隊と云ふも不可なし、

原籍地 足利郡御厨町

現住所 ビヤロツプ

農事

須永爲二

明治三十七年郷里足利郡を辭して渡米したるも又一理ある哉、氏は渡米するに當りて已に渡米後の仕事を決定し、鬪勃たる勇氣と氣力を持って、渡航したることなれば、上陸後は先づ農家に身を寄せて實況を視察し、次て自家の獨立を計るに至れり、同胞間には先きを争ふて農事に従事するものあるも、永しからずして中絶の厄運に逢ふもの又少なしとせず、氏の如きは然らず、一步／＼と進みて其根底を鞏固ならしむるが爲めに着々基礎を据へつゝあり、即ち十年計畫とは氏等の如き仕事を云ふものならん、

栃木縣 安蘇郡 那須郡 上都賀郡 鹽谷郡

原籍地 安蘇郡旗川村

現住所 シヤトル市

五百七十四

那須郡

芦野町

伊藤竹吉

野口多吉

上都賀郡

南押原村

登山英男

鹽谷郡

片岡村

富川喜重

明治三十六年北米ワシントン州シヤトル港上陸以來先づ自營者たらんとする用意の爲めに、金儲することの急務なるを自覺し、爾來汲々として一日の休養を得たることなし、而も氏は一ホテル内にテホテルの仕事に従事し、同所のみにて今日に至りしは、異郷に居住する同胞間に珍しきことなり、而して常に節儉を以て主義と爲し、營々として其職務に忠實なるの一事は氏が勤続の仕方に於て明なり、故に信用も得れば貯財も出来、已に多額の金圓を蓄積して將に獨立の行路に出てんとす、多望なる哉、

英領之部

コロムビア州

英領コロムビア州に於ける我同胞の經歷を録するに先ち、同州の狀勢を略述せしめよ、人口氣候面積其他は地理書に就て知悉し得可ければ茲には只同州の主要なる産業に就き記述するに過ぎず、コロムビア州に於ける有望の事業は森林業、漁業、鑛業、農業等にして我同胞の多數は是等各種の事業に従事し日々奮闘努力しつゝあり、森林業は殆んど世界に於て其比を見ざる所にして詳細に記述せんには到底一小冊子に盡し得可からざるを以て遺憾ながら之を省略し漁業農業等に付き其の概況を示さん、

漁業

同州の漁業は非常に盛大を極めて殊に鮭の漁獲は殆んど世界第一に位せり、鮭の罐詰はビクトリヤに於ける新産業にして發達の傾向著大なるものあり、一九〇四年には晚香坡の南岸に僅か二個のツラップあるに過ぎざりしに翌年五個に増加し、現今にては總數二十六のツラップあるに至れり、一九〇六年エスキマルト川に設立せられし罐詰所の産出高は三万五千箱に上れり、而して之は僅かに四個のツラップにて捕獲せしものに過ぎず殘餘の十一箇所はフレザー川にて罐詰をなせり、昨年更に他の罐詰所はビクトリヤ灣頭に設立され、百五十人の白人労働者を使用し居れり、今地方別に各會社製造罐詰の數量を示せば左の如し、

ス キ ナ	九八、八五六箱
イ シ レ ッ ト	八三、一二二
ナ ア ス	三二、七二五
ロ ー、イ シ レ ッ ト	八、〇五六
デ イ ー ン、チ ャ ン ナ ル	一三、八九〇
ベ ー ラ、ク ー ラ	一〇、〇二九
ス ミ ス、イ シ レ ッ ト	七、九四二
ア ラ ー ト、ベ ー	八、七二八
ル ク レ ヨ ク オ ッ ト	四、五九六
ア ル ベ ル ニ ー	四、八一三
リ ア シ ア ス カ	二、三三八
ノ ー ル ス、ア ー ム	一、二七、四七二
ス テ プ ス ト ン	二、九七、二一八
カ ノ ー、バ ッ ス	一、五二、二六三
ウ エ ス ト ミ ン ス タ ー	一、二〇、六七四

ビ ク ト リ ヤ

三〇、一三八

其他比目魚鮓も多量の産出のあり、鮓は大抵鹽漬として輸出せらる、之を煉製又は干物とせば一層の需要あるべし、晚香坡西岸に於ける捕鯨業も大に成功しつゝあり、之に伴ふ肥料及鯨油の製造業も有望の事實にして目下二個の製造所を設立中なり、同所の漁業は將來益々著大の發達をなすに至らん。

農 業

農業も又非常の發達をなしつゝあり、全州に於ける農産物價格六百四十八万二千三百六十六弗の内晚香坡島は百二十一万四千二百四十弗の産額に上れり、邦人に最も必要と認むる晚香坡島に於ける主要農産物の産額を配列せん、

果 實	三七、四四〇弗
パ タ タ	二、三〇、四五〇
雞 卵 及 家 禽	八七、五〇〇
家 畜	六七、五〇〇
羊	六二、五〇〇
豚	三七、五〇〇

枯 草	一七七、六〇〇
オ ー ト 麥	九一、五六〇
大 麥	七〇、六二〇
小 麥	六九、二三九
豌 豆	二五、六〇〇
馬 鈴 薯	六三、七五〇
其 他	一五五、〇〇〇
計	一、二一四、二四〇

園藝事業もコロムビヤ全州を通じて、殊にビクトリヤ地方に於ては著しき發達の傾向あり、果實園は續々新開され直に植付又は栽培をなしつゝあり西洋葎も大に増加せり、園藝家は一層斯業の發達に注意し、學術的研究の結果を應用して唯に産出の増加を計るのみならず又果實の風味に於ても一層佳美ならしむべく計畫しつゝあり、經驗ある某技師の調査によればビクトリヤ地方は氣候風土頗る葡萄の栽培に適し、豊富の産出ある見込なりと、又同地方は蠶の飼育に佳良にして目下倫敦にては盛大なる生糸製造に着手すべき目的を以て新會社設立の計畫中也と、唯農業及園藝に就き遺憾とすべき勞働は者の欠乏なり或時期の如き最高賃金を仕拂ふも之が供給を得るに困難の事ありと、

鑛 業

コロンビヤ州に於ける主要なる鑛産物は金、銀、鉛、石炭、骸炭等にして一九〇五年に於ける産額の總計は二千二百四十六万一千三百二十五弗の多額に上り、而して逐年増加の傾向あり一九〇五年に於ける主要鑛産物の産額を示せば左の如し、

金	五、九〇二、四〇二弗
銀	一、九七一、八一八
鉛	二、三九九、〇三二
銅	五、八七六、二二二
石 炭	四、一五二、九三六
骸 炭	一、三五八、九二五
其 他	八〇〇、〇〇〇

即ち金及銅の産出額最大額にして石炭之に次ぎ鉛及銀も其産額少しと云ふ可らず、然れども將來有望の事業は金及銅の採掘業也、石炭採掘も前途益發達の傾向あり、猶之を各地方別にすれば左の如し、

カリブー地方	四〇六、〇〇〇弗
英 領 コロンビヤ州	

カスシヤ地方	五〇四、三七一
東部リーテナイ地方	五、三二九、一五四
西部リーテナイ地方	五、四二一、八五九
リルエット地方	三二、五八四
エール地方	六、四八三、五〇四
沿岸地方	四、二七三、八五二

即ちエール地方の産額を最大額として東部及西部リーテナイ之に次ぎ最少額はクルエット地方とす。

公共團體

滋賀縣人會、廣島縣人會等は在留同胞間内に於ける縣人會の最多人數を占むるものにして、青年團體等あるも、未だ活躍して其手足を伸すまでに至らず、要するに公共團體はシヤトル市に於けるが如く、續々として設立するには至らざるべし。

宗教

鏑木五郎氏が牧師となられ居る加奈陀美以教會及佛教青年會の佐々木千重氏は本願寺特派として會堂を建設し、益々盛況に向はんとしつゝあり、美以教會は明治二十六年江村、吉岡の二氏はシヤトルより來りて教會を開き、田村新吉氏の力に倚りて設立せしものにて、二十九年鏑木氏は日本より渡航し以て今日に及べるものなり。

國民學校

明治三十九年二月在晚同胞は日本の小學校兒童に教育を施すべき最良手段として、寄附金を以て國民學校と名くる學校を設立し、土地及家屋建築費を併せて一万弗餘の費用を支拂ひたるものにて、優に同胞間の一事業たるに價す之れより基礎も鞏固なるべしと思惟せらる。

鏑木氏の經營に拘はるゝ小學校には加納幸子とて故國にありて、十年餘も小學兒童教育に従事したる

婦人なれば、其成績大に見る可きものあり、

されど國民學校と教會派の學校とは兄弟橋に開く窺あるは頗る遺憾とする所、區々たる感情問題に拘泥して兒童の教育法を誤らざること肝要なり、

出版上の發達

明治三十年七月晚香坡週報出づ、三十六年加奈陀新報と改名せり、鍋木氏の所有に屬す、北米時事社及旭新聞の二社は共に支社を設け、北米時事の支社主任は早川一郎氏にして旭新聞は朝野五郎氏なり、近々の中飯田道左氏の加奈陀案内は出版せらるゝ由、

營利團體

晚香坡に於ける一大勢力を有する機關は即ち旅館組合なりとす、コロンビヤ州内にて雜貨を營業とする、商賈は旅館業者の手にて支配せらるゝが如し、旅館業者は重に先輩の渡航者にして各勞働者間と連絡を通じ居るも又其一原因なるべし、即ち舊組合と新組合の二ありて互に鍋を削りて争ひしが、現今は一團となりて在晚同胞の發展と利福を圖らんとする機關となれり、

フレザー河畔の日本人

漁業に従事する同胞はフレザー河にて鮭取を業とするものにて、毎年産額には多少の差異あり、水産

専門家の談に依れば五年目毎に大漁を博する由にて、大漁の年には一万人内外の日本人にして十七万弗以上の稼高となり而して僅に七万弗以上九万弗位より同胞の手中に歸するのみと聞けり、其他スキナ河、リバースインレット、進んでアラスカ方面に亘りて漁業に従事し、其盛況なること吾人をして海國男子の萬歳を謳歌せしむるものあり、故に我が同胞が英領加奈陀に渡航するも北米に航するも同一なり、

近來に至りて鹽鮭の輸出は益々盛況に向ひ、一ヶ年五千噸近くの輸出を見るに至れり、鹽鮭製造は重に日本人の手にて爲し居るも、鑑詰は白人の營業とする所なり、

山林伐木に従事する日本人は一日平均一弗五十仙以上二弗五十仙以下にして、中には三四弗を得るものなしとせず、同胞が積財する金額の大半は即ち山林勞働の就働者にして晚香坡に於ける生産上の仕事中有數の一に算せらる、晚香坡には土地家屋を所有する日本人多きが故に北米に居住するものと全く其趣きを異にせり商業はシャトル市に及ばずとも加奈陀の開發に伴れて、將來盛況を來すべきは一點の疑ひを入るべきにあらず、

先づ晚市に居住する同胞の商店の大なるものは田村新吉氏の商會にして、次て大屋慈治氏等を筆頭として、一万以上の資産を有するもの少なからず、

ビクトリアヨミ日本人

同所は商業上に於ける一港灣にしてシヤトル市まで海上六時間を要し、晚香坡市まで五時間を費すべし、日本人の商業は旅館業、雜貨商なり、同港は東洋に往復する寄航港にして、恐く只現情を維持するのみならん、其晩市に及ばざるや遠くシヤトル市の如くならざるも、横濱を出帆して北米に渡航する關門なり、

晚香坡同胞シヤトル同胞

晚香坡には同胞の醜業婦は一名も居住せず、故に同所に居住する同胞は重に妻帯者にして、獨身者は何んとなく肩身狭き心地せらる、之れ晩市同胞の誇りとするに足る美點なり、シヤトル市には獨身者多く而して醜業婦も居住し居れり、吾人は移民の基礎を鞏固ならしむる手段として晩市の如くならんことを望むと共にフレーザー河畔八十軒の日本人は重に妻帯なることを思へば將來も益々善良なる發達を視るならんと思惟す、

コロンビヤ州ヨミ日本人

北米桑港に於ける日本人排斥問題は一轉して加奈陀地に波及したる如くなるも、白人勞働者の常として、其勞働上より敵視するは別段怪むに足らざる可し、加奈陀に居住する日本人は歸化權を有するが

故に北米に居住するものより便宜多かる可し、加奈陀に歸化すれば動産不動産の所有權を有するも、單に選舉權を附與せざるは頗る遺憾なりとす、此問題に就て明治三十三年コロンビヤ州政府と日本人の間には是非典直を争ひたることあり、當時在晚同胞の先輩者と目せらる、田村新吉氏、鍋木五郎氏、永尾唯一氏、山崎寧氏、本間留吉氏、内田千代七氏、島村岩吉氏、濱村仲藏氏、大木龜吉氏等の諸氏は専ら指導者となりて、一班同胞の利權休戚に關することを發表し、各方面より常議員及總代等を選出して、選舉權問題に對して州政府を相手取りて訴訟を起し、州の裁判に於て二回まで勝訴を得、日本人も選舉權を有するものと判決せられたり、次て州政府は此事件を以て英本國樞密院に起訴し最後の判決を乞ひたり、

當時鍋木氏は日本人代表者として航國に渡英し代言人ブレイキ氏を以て訴訟代理人と定めたり、然るに樞密院判決は漠然たる判決を下し、其曲直就れにあるを明示せずして、判決の要領は左の如し、
州政府にて選舉權ありと認定したる場合には選舉權を有するも、然らざる場合は選舉權なきものとす、

故に樞密院にては州政府に重きを置き、其州政府の利害に任せたるは、吾人の不滿措く能はざる所なるも、其州に擴大の權力を附與したる判決は寧ろ理論を以て抗争する能はず、斯くして二回まで勝訴に歸したるも最後の判決に據りて其効を奏せざりしは、遺憾此上もなし、即ちコロンビヤ在留日本人

は今尙記憶に新なる事件として、之を忘却するものなし。

日本人の發展

晚香坡方面に渡航したる同胞の古參者の談に據れば、明治十八年頃北米シャトルより轉住したるもの二名あり、晚香坡に上陸したるものは舟乘業者にして、外國航船に乗込みて渡航せしものなり、二十年前の晚香坡は今日目抜の場所と唱へらる、場所も當時は野獸の捷息こそすれ、絶えて人家のなき場所にて、二十年後の今日は大厦高樓の聳ゆるありて、市街の發達と東洋貿易に依りて、益々繁昌に赴きつゝあり、始めて晚香坡に上陸したる人々は其勞働上の範圍は狹隘にして製材に従事する外、他に適當の勞働とはなかりき、超えて明治二十一年晚香坡を去ること三十餘哩フレンジー河にて鮭漁業上に日本人を使用せしを嚆矢とす、當時萩原利兵衛氏外十名の日本人はビーバーケヤナリに雇はれたるは、抑もフレンジー河にて鮭取漁業を日本人の手に歸せしめたる基因なり、別言すればビ州に於ける日本人發展の事業は漁業を以て第一とす、製材業は最初の渡航者より引續き現今に至るものにて、日本人とは少なからぬ縁故深き有望の生産業ならん、

礮山採掘に従事せしものは明治二十一年頃にして、晚香坡在住の古參者の一人に數へらる、永尾唯一

氏は當時の事情を語られたるも、長尾氏より以前ユニオン炭礦に就業せし勞働者は二百名にして、晚香坡を去ること百三十哩の位地にあり、其時代の渡航者は他に職業少なきを以て競ふて斯業に従事せりと云ふ、

以上の徑路を辿りて進歩發展し來りたる同胞が一は漁業に走り一は山林業に従事し居れり、所謂滋賀縣人は山林業のソーミルの方面に於て全体の七分を占め、和歌山縣は漁業に於て漁業者の七分は同縣人なり廣島縣人も又重に山林勞働に従事せり、故に英領ビ州にては滋賀、和歌山の二縣を除けば、廣島、山口次て神奈川と云ふが如き割合とならん、和歌山縣人中日高郡は最多數を占め、滋賀縣は犬上郡のみにて約五六百名に達す、

日本人漁者團體

フレンジー河畔旭日旗は高く高樓大閣雲間に聳ふるは之れぞ即ち在留本邦の間北米の天地に唯一と稱せらる、日本人漁者團體の附屬病院なりとす該團體は西曆千九百年小田島村大木等の先輩諸士によりて唱導創立せられ加奈太行政官廳の認可を経て財團法人に編入せられてより茲に七星霜其間幾多の辛酸苦痛を嘗め幾多猛烈繁列なる打撃を蒙りしも能く強忍不拔遂に今日の盛況を見るに到れり、團體の目的に二者あり、即ち在留本邦人の協同及相互の親情便宜を謀り、外、外人に對し、其利權を

伸張し以て在留本邦人の根定を牢固に保し、天涯萬里羈旅の孤客若かも乾燥無味の異域に於て頼るべ
 汀の同胞が病魔に犯されて床上に呻吟する者を收容して彼等の慰藉者となり無料診察施藥して親切叮
 嚀に患者の疾病を除去するに在とす、

誰れか其目的の高尙遠大を歎賞せざる者あらん由來世上には其目的の美にして現實の伴はざる偽善的
 の者頻々として其舉指に違あらずと雖も該団体の如きに至つては其名實の同平行線に在るは不可争事
 實也とす

之を外にして國際間上外國人が他國の領土主權内に於て最も難澁とする漁業權を獲得し本邦人の盛に
 事業を經營し盛に潤益を占有しつゝある在留同胞幾數白千あり之を内にしては年々無料診察施藥せし
 員數千有餘名に達し本年の如き団体創立以來策の最少員數なるにも不拘今日に於ては優に五百有餘を
 數ふるに至れり亦以て其眞象を察知するに足らん哉、

三十九年度の名譽職として撰舉せられし者は団体長濱崎直次郎、副団体長鈴木市太郎、小川清太郎、
 會計磯村源太郎監査役、佐々木長作、木場季吉、尾浦久吉氏等なり、
 職員としては理事、鮎戸由松、院長醫學博士アール、エフ、グレイア、其他看護長及看護通辯、コッ
 ク、ボーイ等數名あり茲に略述して大方諸君に紹介す

コロンビヤ州在留日本人一覽表

地名及職業	個			計
	戸數	男	女	
晚 香 坡				
日 本 雜 貨	二	八	一	九
食 料 品 小 間 物	一五	三八	一四	五二
旅 人 宿 下 宿 業	二六	七二	三三	一〇四
精 米 業	二	四	一	五
漁 網 販 賣	一	三	一	四
菓 子 製 造	三	六	二	八
洋 服 裁 縫	三	七	二	九
寫 真 業	一	一	一	一
印 刷 及 新 聞	一	四	一	五
輸 出 入 仲 買	一	五	一	五
人 夫 請 負 及 周 旋 業	六	七	二	九

英 領 コロンビヤ州在留日本人一覽表

旅 宿	竹 工	日 本 雜 貨	ビ イ ク ト リ ヤ	勞 働	雜 業	醫 師 產 婆	傳 道 師	時 計 修 繕	洗 濯 業	飲 食 店	運 送 業	玉 突 場	湯 屋 及 理 髮	竹 細 工 業
二	二	四	七	二	四	七	二	四	二	〇	二	二	七	二
一	六	二	九	二	八	三	六	七	〇	六	三	四	四	一
二	六	三	一	二	三	三	二	二	〇	二	五	一	十	六
一	八	二	三	一	七	七	八	六	六	六	二	八	四	四
二	八	二	七	七	三	八	六	六	六	二	八	四	四	二
一	八	二	七	七	三	八	六	六	六	二	八	四	四	二
一	八	二	七	七	三	八	六	六	六	二	八	四	四	二
一	八	二	七	七	三	八	六	六	六	二	八	四	四	二

食 料 品	カ ム バ イ ラ ン ド	勞 働	ナ イ ト モ 附 近	勞 働	食 料 品	チ エ メ ー ナ ス 及 附 近	勞 働	食 料 品 店	勞 働	教 會	理 髮 業	雇 入 店	洋 服 店	西 洋 料 理
三	二	九	二	二	一	一	一	二	一	一	一	二	一	一
三	二	九	四	〇	二	三	七	四	三	一	一	一	二	三
三	四	八	一	一	二	三	二	一	一	一	一	一	一	一
六	三	三	四	八	三	三	七	六	一	六	三	一	一	三
六	三	三	四	八	三	三	七	六	一	六	三	一	一	三

勞 働	ニユーウエストミンスター	鹽 鮭 業	西 洋 料 理 業	寫 真 業	勞 働	ス テ プ ス ト ン	勞 働	漁 業 團 体	理 髮 業	雜 業	テ ラ ノ ー パ ー	勞 働	ポ ー ト エ ッ シ ン ク ト ン	食 料 品
一四	二	一	一	一	四	六九	一	一	一	三	六	一	一	一
七五	五二	四	二	二〇	八五〇	一	三	一	六五	一	一	一	一	一
五八	〇六	五	五	五三	八	一	一	一	一	一	一	一	一	一
二九六	五八	四	四	一二五	九〇三	一	一	一	七三	一	一	一	一	一

勞 働	ベ ラ ベ ラ	罐 詰 品	食 料 品	勞 働	リ パ ー ス イ ン レ ッ ト	勞 働	サ ル モ 及 附 近	勞 働	雜 業	ク ラ ン プ ル ク	勞 働	ス リ ー バ ン	勞 働	ポ ー ト エ ン
一九	一	一	一	九	三	四	三	四	六	四	一	四	一	四
三八〇	三	一	六	五九	四一	四	一八	六八	一	一	一	一	一	一
一三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
三九二	二	一	六	六一	四三	一五	二	七〇	一	一	一	一	一	一

英領コロムビア州在留日本人一覽表

計	鐵道	勞働	勞働
三六二	一	一	三
四、九五六	一三〇	一六	五七
五二三	二〇		三
五、四七九	一五〇	一六	六〇

晚香坡領事館

東京府

領事 森川季四郎

長崎縣

書記生 岩永覺重

東京府

同 吉江三郎

和歌山縣

英領加奈陀晚香坡を中心として、コロンビヤ州に居住する同胞間内にありて、滋賀縣人は最多數を占め、次に和歌山縣人とす、而して和歌山縣人の最多數は漁業に關係するもの多し、故に、同州に於ける和歌山縣人の勢力範圍は隆々として旭日の東天に登るが如し、年々同縣人が漁業より收得する利益はフレザー河にて漁業に従事する同胞の約十分の四を占む、一漁期間に全体の同胞は十七八万弗を收得するとなれば和歌山縣人の利益も決して少額にあらず、益々同縣人の發展を望む、

原籍地 日高郡三尾村
現住所 晚香坡ステプトン

漁業 尾浦久吉

二十七年英領晚香坡市に來りて、ステプトンに入り、漁業に關する實地經驗を積みたり、總ての事業的經營に就て經驗に重大なる勢力たる也、經驗なくして事業を營み成功を期せんと欲せば木に縁つて魚を求むるより猶難事に屬し、經驗は熟達を來たし熟達はやがて成功の端緒たるなり、氏は即ち此の經驗の武器を提げて漁業に従事す數名の人々を使用して斯業熱心者の一人なりとす、明治三十七年の頃漁業者團體より撰ばれて副會長となり、同會の發達進歩に就き公共的盡力を致したると事多し、目下鹽鮭製造に従事し盛んに日本への輸出を企劃し、年々其の製造輸出の額を増加し、同地貿易上の重要商品として將來有望の事業たるは疑を容れず、而して氏が在來の經驗と敏活なる商業的手腕とは兩々相待つて此の好事業の順潮に棹し、一灣千里の大成功を博し得可き也、氏は其の傍ら目下同地に家居を購入し、玉場を開業し之に相應の繁昌を來たし居れり、すべての事業は其の端緒を得る迄が困難也、薄志弱行の徒は既に其試練に落第して失望落膽に了るなり、既に困難を排除して事業の端緒を開拓するの勇氣あらむか、之を經營し之を發展せしむるは易々たらんのみ、氏の事業に於ても猶然り、更に事業の擴張を計りて太平洋沿岸に雄飛する所あれ、

原籍地 日高郡三尾村

現住所 晚香坡カトバ街一五一

旅館及日米雜貨

土 山 虎 吉 壽 希

松 葉 菊 松 岡

電 話 六 八 三

二十三年英領晚香坡に上陸し、日本人大工業を開始し、銳意資金の貯蓄に従事し、三十三年四月家屋及地所を購入せり、之邦人にして同地に土地家屋を所有せし最初の一人なりとす當時友人友葉菊松氏と共同し旅館及日米雜貨を營み本國より直接食料品等の輸入を仰ぎ、盛大に營業し居れり、商號紀の國屋と稱す、同國出身の人々は同館に止宿する者多く、又同縣人中にありて先輩の一人として推服せられつゝあり、松葉は二十七年英領晚香坡に上陸し、土山氏と共同して業務の發展に盡力せり、紀の屋の今日ある實に土山松葉氏共同の結果也とす、又同館商業は日米雜貨食料品等の販賣を計り、主にフンザー川方面の地方に向つて多量の供給をなしつゝあり、近年兩氏は精米所を創立し、他方面に於ても頗る利益を博せられつゝあり、如斯く紀の國屋商會は目下旅館雜貨精米の三方面に向つて大に活動を極め居れり、吾人は氏等の共同事業の將來に對して多大の希望を有する者なれば、廿世紀に於ける商業的經營は少く共二人以上の共同事業たるを要す、共同事業の利點勢力は吾人の多言を要せず、吾人氏等兩名の健全を祈り大なる飛躍を希望して止まざるなり、

原籍地 日高郡比井崎村産場

現住所 晚香坡パウエル街二百十八番

洋服商

田 中 久 太 郎

三十一年英領晚香坡に上陸し、獨立營業者たるべき準備として氏は先づ身を洋服店に投じ、専ら斯業の習熟に努めたり、同時に一面には獨立營業に充分なる資金を蓄積せん事を心懸け、七年の星霜を経て茲に初めて一箇の洋服商を開始し獨立業者たるに至れり、多年の苦心は其の技能發揮すべき時代に遭遇せり、噫天は自ら働く者を助く、自跋の精神ある人は天又之を捨てず、一時はあらゆる困難辛苦に圍繞せらるゝと雖も、暫らくして之を排除し、担々たる成功の道は開展せらるゝなり、氏の巧妙なる熟練は忽ちに同抱間非常の好評を博し、店務日を追ふて繁昌に赴きつゝあり、氏が七年間の苦心は今日成功せる裁縫師としての光榮を以て酬ひられたり其より大なる報酬及美果は其の勢力の大なれば大なる程其の多額を要求し得べきなり、吾人は如何なる場合に處し如何なる職業に對しても愈々迄奮闘的生活を送らざるべからず、大宰相たるも靴屋たるも人爵的階級は異なりと雖も社會生存上の必要より云ふ時は兩者熟れも欠く可らず人体手足職分を異にする如く全ての職業は人類共同の生活の必要より生じたる也と、某政治家は曰へり不完全なる宰相たらんよりは完全なる靴工たれと言稍々奇矯に失すと雖も以て職業の如何を問はず完全なる成功の尊きを知るに足らん、

原籍地 東牟婁郡下里村

現住所 晚香坡市

旅館業

松 本 竹 松 妻 帯

二十九年英領晚香坡に上陸し、爾來ステプストンに在りて漁業に従事せり、同所にては和歌山縣人多數を占め人夫を使用して盛かんに漁業を爲し、漁獲物は之を日本に向け輸出せり、三十六年漁業者團體より撰擧されて該團體に對し大に盡瘁する所あり、事情ありて一ヶ年後之を辭職し其れより晚香坡島ナ、エモルに肥料會社を設立し専ら其擴張に奔走せられたり、一箇の獨立業者たる事既に非常の難事に屬す、況んや組織的なる一會社の設立に於てをや、其の間に於ける氏の苦心は實に慘憺たる者ありしならん、氏の熱心と精勵とは漸次社運の發展を見るに至りしも不幸にして事業未だ成功せざるに先ち加奈陀政府の命令に依り之を中止せり、その原因は同政府魚類保護の精神より生じたものなりと、氏が充分の手腕を揮ふの機會なくして經營僅かに三年に過ぎず、遂に此悲運に遭遇するに至れり、氏の遺憾如何ばかりぞや三十八年十二月、同所に土地を買入れ、家屋を新築して更に旅館を設立し、業務日々に盛大に向ひつゝあり、由來困難は成功の母也雪中の松柏愈々青々たる如く丈夫は人生の風波と戦つて初めて其面目を發揮し得可し、氏の今日ある換言すれば逆境の賜物也、否其逆境と戦ひ之を征服せし氏が壯烈なる奮闘的精神の結果也、

原籍地 那賀郡安樂川村

現住所 ハーリース街

精米、輸入商

根 來 勝 之 助

氏は三十一年晚香坡に上陸し、ソーミルの組長となりて二年間其業に従事し、以て専心將來獨立業者たるの準備をなし、續て同州アイランドにて肥料業を営み、傍ら日本雜貨及紀州産出の米穀を輸入し、同時に肥料は之を本國に輸出し最新式の器機を利用して精米所を設け、一晝夜十六噸を精米するの器機を据え付け居るに至つては氏が斯業に對する熱心忠實の度は只管感服に堪えず、近年又一層業務を擴張して鹽鮭及紀州名産として人々に知なる密柑類の輸入を計り之等も着々として成功の機に向ひつゝあり、氏猶ほ年齢少壯、本年二十八歳に過ぎず、吾人は氏の前途に對し多大の希望を抱かずんばあらざる也、富豪の兒は假令其の富豪の跡を繼て何等の辛酸を嘗むる事なく、富豪たり得可きも、彼等は一厘一毫も日本帝國を富力するには非ざる也、只夫れ富を續承し辛じて之を維持するに過ぎざるのみ、如斯にして百の三井あり千の岩崎ありと雖も何等帝國の利益とする所ならんや須らく海外に發展せよ、盛んに無盡藏なる富力の新天地に向つて殖民せよ、海外にて同胞が努力奮闘の結果蓄積せし資産はやがて日本帝國の富力は夫れ丈増進すべし、大英國の今日は殖民政策成功の賜物のみ、氏よ願くば少壯青春の勇氣を鼓舞して大に帝國の發展に盡す所あれ、

原籍地 海草郡紀伊村

現住所 晚香坡ウエストミンスター街二百二番

川 崎 歌 吉

電話 千三百六番

三十一年四月英領ピクトリヤに上陸し、直ちに白人の家族に雇はれて、家内の勞働に従事する事一ケ年、されど唯々諾々として白人の使役に甘んずる豈大志ある男兒の潔くする所ならんや同地を去つてステブストンに赴き漁業に従事せり、然れ共事志と違ひて目的を達するに至らず三十三年晚香坡に來り、同地美以教會に止宿し再び白人店舖に働き、千辛萬苦を嘗め茲に僅少の資金を得たり、牛尾となるより雞口となるは優る三井三菱の社員で威張る人も一箇の雇人に過ぎず、小なりと雖も街頭に露店を開くは立派なる獨立業者也、氏は即ち勇氣を鼓して之を資金として煎餅屋を開き、氏の令弟と協力して大に業務の擴張を計り、三十七年十月現住所に移轉以來一層の隆盛を見るに至れり、三十一年一月一旦歸國して成功の錦を故山に飾り、同年六月再渡航して大々の店舖擴張をなせり、氏猶少壯氣鋭事業の經營に敏捷なる事疾風の如く、同胞會社にも大に囑望せられつゝあり、紀州和歌山移住者紀文大盡の密柑船を以て徳川時代の史乘に一光彩を興わたり、氏や此國の産其の術數と其機智以て當時の江戸より百倍否千倍も廣大なる北米の活舞臺に第二の紀文大盡たるは難事なりとせんや、前途の奮闘を希望す。

原籍地 海草郡紀伊村

現住所 晚香坡ウエストミンスター街二百二番

川 崎 彌 助

三十一年四月英領ピクトリヤに上陸せしや年齢僅に十五歳の少年也き、令兄歌吉氏と共同して健氣にも勞働に従事し、令兄の獨立業者たるに際して少からざる盡力をなせり、氏は先天的頭腦頗る明晰にして理學的天才に富み、令兄が奮闘の結果蓄積せし資命を以て煎餅製造を開始するや氏其器械の發明改良に心を傾け苦心空しからず三十九年六月氏が獨立工夫せし新器械の特許を申請くるに至れり、云ふ事勿れ一小些事に過ぎずと、小事はやがて大事也、小なる發明をなす人は又大なる發明をなし得る也、ワットが蒸氣汽鐘の發明は汽車汽船に應用すれば近世文明の重要な交通機關となり、ニュートンが林檎の枝より落つるを見れば今日理學界に勢力ある地球中心説發見の階梯なりし也、林檎の落つるや蒸氣機鐘の發明せらるゝや之又一小些事のみ、而かも誰か知らん大勢力大發見の萌芽たる也、今之を氏が忍耐勤勉の精神に見るに他日偉大なる發明家として多大の光榮を邦人に與ふべきは疑を容れず、目下氏の發明的天性と明晰なる數理的頭腦とは堅忍不拔の精神と相待つて同地邦人の花として多大の希望を囑せられつゝあり、宣なる哉勇しく十五年にして渡米せし氏は今年僅かに廿四歳の少壯なり、自重自愛奮勵する所あれ、

原籍地 海草郡松江村

現住所 晚香坡市

松並定之助

明治三十一年英領ビクトリアニ上陸し、直ちに晚香坡に來り漁業に従事する事約四年、此間常に白人の商人を相手として取引を爲し、時には蹉跌を來せし事もあり、されど失敗は成功の母なり、意志金鐵の如き氏は數度の失敗に豈に挫折する事あらむや、益々勇氣を鼓して奮進せり後更にC、P、R鐵道會社に屬する工事會社の勞働者組長となり、四年間始終一日の如く斯業に従事せり、困難も經來つて氏の勇氣は愈々奮ひ、氏の決心は益々堅實也、將來の運命を開拓するは近きにあるを疑はず、

原籍地 日高郡比井崎村字

現住所 晚香坡市

運送業 岩崎安太郎

明治三十三年英領晚香坡に渡航して、先づ貯財に従事し、一意専心、獨立業者たらんとして奮勵怠らざりき、故に此獨立業を經營せんとする志望の爲めに漁業に従事して以て資力を得たり、三十六年に至りて紀の國屋旅館内に事務所を置き、専ら運送業務を營みたるに未だ前例なきことゝて、大に顧客を得、益々盛況に向ひつ、あり且つ將來に於ても有望の一事業にして、同胞の間にありて、此種の事業の勃興するは、甚だ慶賀すべきことなり、更に勇躍して前途の成效を祈る、

原籍地 日高郡三尾村

現住所 ステブストン

鹽鮭輸出 吉田龜吉

明治二十二年英領晚香坡に渡航して以來、身を以て漁業に従事し、嘗て一日を怠りしことなし、同所に於ける古參の一人として、同僚間にも推重せられ、且つ鹽鮭輸出を企圖して良結果を奏せり、晚香坡地方及ステブストンに居住する同胞間内には重に此種の仕事多く、氏も又着々として成功しつつあり、

公共團體にも漁者團體にも大に力を盡くし、同地に於ける先輩者の一人として、少壯者より信用も最と厚し、

原籍地 日高郡三尾村

現住所 ステブストン

鹽鮭輸出 田中三吉

妻帯

空疎にして渡航し、十年の歳月を眞面目に費消して、一事を起すものは千百の中にありて幾人かある、四千哩の波濤を超えて海運業に従事する勇氣と氣概は將に之れ日東男子の面目に價すること多大、氏は二十六年晚香坡に着して以來常に漁業に従事して少なからぬ經驗を積み、而して資力を蓄へ、三十六年始めて獨立業を營み、鹽鮭輸入業に従事して、好成績を得、前途有望の間に處して頗る熱心を極め居れり、成效は期して待つべきものあらん、

滋 賀 縣

滋賀縣人會々則

- 第一條 本會を滋賀縣會と稱し本部を晚香坡市に置き且つ臨時適當の場所に支部を設けるとあるべし
- 第二條 本會の目的は滋賀縣人の親睦を厚くし且つ共濟慈善を爲すにあり
- 一、會員は信義を重んじ相提携し相補翼する義務あるものとす
 - 一、會員にして疾病及び其他の不幸に遭遇したるものには相當の救濟を爲し又は金錢を給與す
 - 一、前項の原因又は公務に因り歸國するの已を得ざるものへは相當の便益を興ふ
 - 一、本會は公共慈善事業に對し金錢及物品を寄贈するとあるべし
 - 一、會員にして負傷し入院一ヶ月以上に及ぶ者は一ヶ月以後の病院費は本會より支辨すると
- 第三條 前條にある支出金額及失費に係る事件取扱は協議會に於て決定す
- 第四條 本會は在留滋賀縣人を以て組織す但し他縣人にして本會の主旨を賛成し入會を希望せらるゝ者は會長及協議會員の承諾を得るを要す
- 第五條 會員たらんと欲するものは會員の紹介を以て原籍及び現住所を詳記し入會金五十仙を添へ本會に申込まるべし

- 第六條 會員は會費として毎月二十五日以前に金十仙を納むるものとす
- 但し本人の都合に依り數ヶ月分前納するとを得
- 第七條 會費の滞納三ヶ月以上に亘るものは退會せしむ
- 第八條 脱會せんと欲するものは其理由を本會に申出づべし
- 第九條 會員にして原籍及住所變更する時は其都度本會に通知すべし
- 第十條 本會に會長一名を置き會務を總監せしむ
- 第十一條 常務を整理する爲め書記を聘備するとあるべし
- 第十二條 協議員若干名とす
- 第十三條 會長及協議員は會員の投票を以て會員中より之を撰出す
- 第十四條 毎年春秋二回の定期總會及臨時總會を開く
- 但し開會日時及び場所は遅くとも十日以前に一定の方式を以て通示するものとす
- 第十五條 協議會員は會長に於て必要ある場合は隨時之を開くことを得
- 第十六條 本會の財産は在晚香坡帝國領事館に保管を依頼すること
- 第十七條 會長は定期總會に本會の會計及其他の事務を報告するものとす
- 第十八條 總て決議は出席員の過半数に因る

第十九條 本會則は總會の決議に因り變更するを得

第二十條 本會の業務取扱細則は協議員會に於て規定す

會長

森 野 榮 治

副會長

山 田 捨 彌

同

林 半 右 衛 門

協議員 加藤惣次郎

西村政次郎 近藤傳彌

若林 助 治

竹内末菊 濱川七松

北村忠五郎

大野常藏 西村初次郎

西村 伊 助

伊藤彌之助 堀 商 店

西村勘三郎

西村源之助 西村増次郎

東川吉次郎

江畑石松 西部増彌

會計は協議員中より二名毎月交代を以て任す

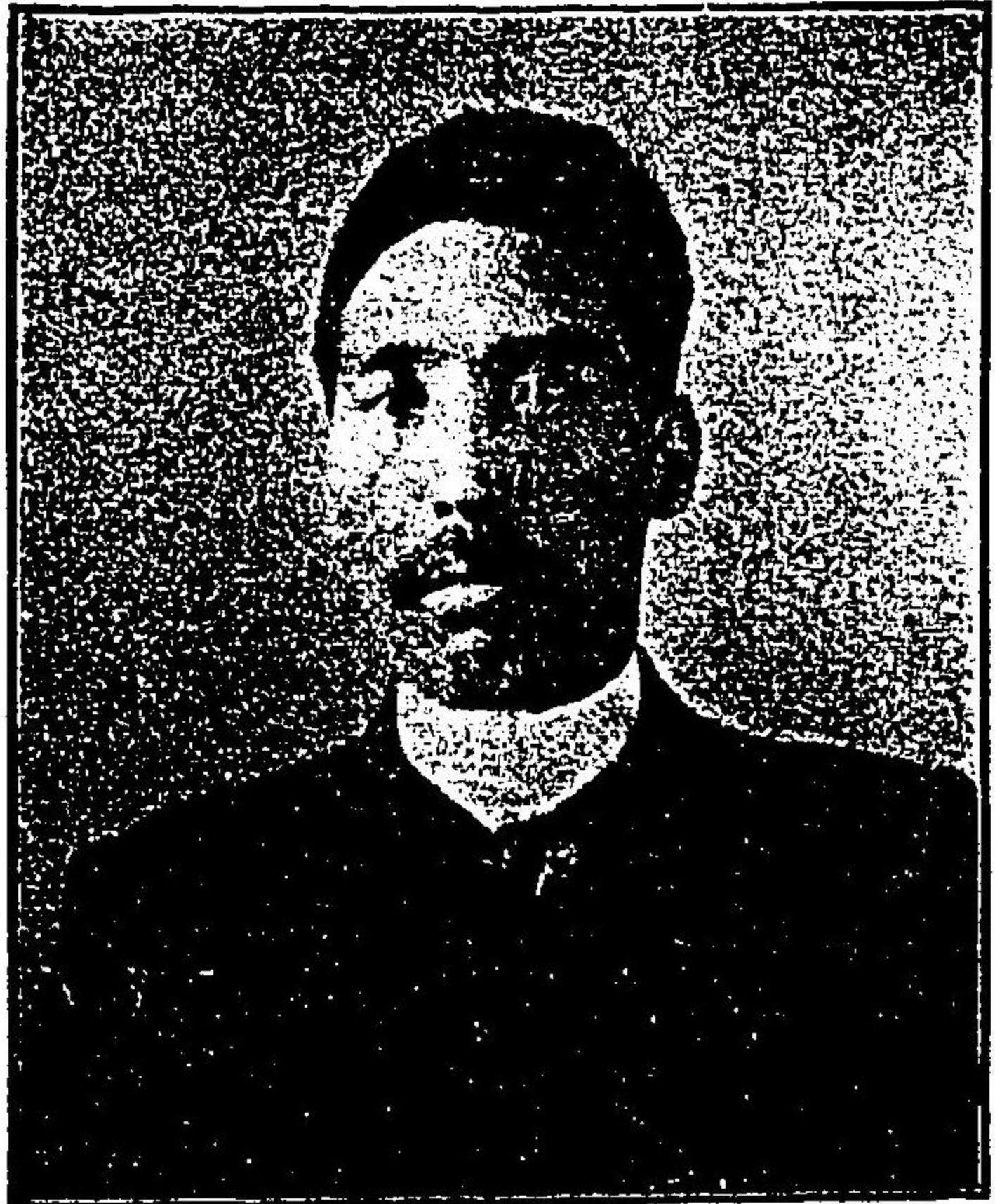
加奈陀滋賀縣人會

原籍地 滋賀縣愛知郡稻枝村字金澤
現住所 晚香坡市パウエル街四百六十一番

旅館、請負

森 野 榮 治 妻帯

電話 二一四六



滋賀縣人會の會長として、同縣人間に推重せらるる所以のものは、他にあらず、勤勉正實、自を措かすして、他に接するか爲めなり、氏は二十九年の渡航にして、晚香坡に上陸後は専ら伐木業に従事し、精勤怠る所なし、三十二年現所に旅館を開業して旁ら請負業を爲し、内に堅實にして、其外面を飾らざるは氏の性格の長所なり、滋賀よりコロンビヤ州に在留する同縣人の數は二千以上其勢力の大なること他に其比を視ず、吾人は益々奮勵して氏の成効を祈ると共に併せて同縣人の先輩者と仰かれんことを切望す、

原籍地 犬上郡北青柳村字大藪

現住所 晚香坡パウエル街二百卅六番

旅館 北村源彌

明治二十六年五月八日英領加奈陀晚香坡に上陸し、爾來製材業に従事する事約七ヶ年、此間有らゆる他郷の辛酸と奮闘し、熱心以て獨立事業を開始すべき資金の貯蓄に努めたり、遮莫丈夫精神の存する所事必らず成る、三十三年四月二十四日ヘステング街に一箇の旅館を開始し店運大に隆盛に赴きしを以て三十四年一月前記パウエル街二百卅六番に土地及家屋を購入し引續き盛大なる旅館業を營めり、氏は單に自己の運命を開拓すべき熱心なるのみならず亦一般公共的精神に富み目下滋賀縣人會副會長にして會計の要務を兼職し、同縣人のために盡力せらるゝと極めて多し、否同縣人のみならず在留同胞のためにも頗る盡力し居らる、人類は實に團結的動物也、ロビンソンクルソーの孤獨寂莫なる生活は吾人の之に堪え得ざるのみならず又之を爲し得ざる事なり、團結は人類の自然にして又國家社會の根底たる也、同縣人愛せざる可らず同國人愛せざる可らず、之は即ち團結を愛する精神に外ならず全般の唯一勢力たる也、氏が力を公共事業に致す只それ國家を愛し團結を愛する精神に外ならざる也、氏又熱心なる佛教信者にして西本願寺支部建築の際の如きは卒先して之が建設に盡力し、現在に於ても支部の會計を勤務し居らる、幸に自重する所あれ、

原籍地 犬上郡多賀村字土田

現住所 晚香坡パウエル街

雜貨商 土田龜次郎

三十七年七月英領晚香坡上陸、氏が渡米の目的たるや富力無盡藏なる大平洋沿岸の新天地に於て堅忍不拔以て眞個の成功者として勝利を奏せんが爲めなり、既に其目的と決心とあり、之を遂行するの手段として勞働何ぞ厭ふに足らん、氏は即ち精力を傾注して資金の貯蓄に励めたり、熱心の存する所事必ず成る、未だ一年ならずして氏はパウエル街に雜貨商を開始するに至れり、而して氏は今や準備時代に數倍せる勇氣と勤勉を以て其の擴張を計りつゝあれば近き將來に於て店務の繁榮見るべきものあらん、

愛知縣

原籍地 東春日井郡水野村
現住所 晚香坡パウエル街

日本料理業 磯村初太郎

二十七年英領晚香坡に上陸し、製材の事業に従事する事十年、其の間終始一日の如く、忠實と勤勉を以て將來發展に資すべき十分なる資金の貯蓄を計り、薄志の輩弱行の徒は宜しく氏が壯烈なる奮闘的精神を模範とすべき也、而して氏は其資金を以て三十五年同地に下宿營業を開始し、三十八年パウエル街に日本料理業を開業せり、自己の額に汗せして貯積し得たる資金を以て開始せし營業に對し、氏は非常の熱心と注意を以て之が經營に従事しなければ、業務日を追ふて隆盛に赴きつゝあり、

原籍地 智多郡樽水村
現住所 フレザー河畔

造船、雜貨 磯村源太郎

明治二十四年英領晚香坡に渡航し、フレザー河畔に至りて、造船業に着手し、専ら漁業用に供する漁船の作業を爲したり、フレザー河畔には鮭取を業とする同胞は年々一萬内外を以て算せらるゝ場所なれば、從て仕事も多く氏の業務の如きは尤も必要なるものゝ一なり、已に數千弗の財を造りて益々發展の域に進み、前途の幸福多大なるものあらん、

氏は同所の公共團體に關して熱心に盡瘁し居る一人にして、先輩の間にも信任を博し、後進のものには又指導者たり、

廣島縣

原籍地 安佐郡三川村字古市
現住所 晚香坡スレンジ街

雜貨商

金 村 和 市 五十

二十七年英領晚香坡に上陸し、當初約一ケ年は勤勉と忍耐を以て身を勞働界に投じ、此間云ふ可らざる困難を凌いで資金を貯蓄し、翌年初めて一箇の雜貨店を開店するに至れり、爾來敏活なる氏の事業的經營は忽ちにして著大なる店運の隆盛を來たし、目下にては取引先得意先の數も非常に増加し、近年又伐木業を計蓄し巨額の利益を得られつゝあり、同地に於ける邦人間の資産家且有力者にして購入せし土地家屋を賃貸し、そのみにても一ヶ月の收入百弗に近しと、

氏曾て日本酒販賣の許可を加奈陀政府に出願せし事あり、當政府許可なきを進んで黑白を法庭に争ひ遂に氏の勝利となりしも矢張免許の運に至らざりしと、邦人が同地に於て白人同等の權利を享有せざるは獨り氏の計畫せし清酒販賣の事業のみならず、其他の點に於ても又然り免許を得るに至らざりしも之を法庭に争ひし勇氣と勝訴に歸せし快事とは吾人も均しく痛快に堪えざる所也、氏の單獨自己が事業の經營に熱心なるのみならず、公共的事務にも力を盡くす事多く、目下整備同志會の會計の重職に在り大に廣島縣人のために盡瘁せられつゝあり、同縣人の發達を計るは同胞の發達を計る也、

原籍地 佐伯郡八幡村字中地

現住所 晚香坡パウエル街二百七十番

谷 口 熊 太 郎 妻 帯

二十六年十二月華州シャトルに上陸し、ポートブラクレーの製材労働に従事し、同所に滞在する事七ヶ年、困難に際し逆境に處して氏の勇氣愈々加り氏の精神益奮勵し、其間百敗猶屈せざる堅忍不拔の意志を修煉せり、不幸同地に志を得ず更に勇氣を奮つてフレザ川に來り漁業に従事し勞ら食料品及雜貨店を開業せり時に三十二年六月也、ムチスノーミルに至りて食料品を販賣する事之れなり四ヶ年に及べり、此間日本に歸朝する事三度、晚香坡に來りしは明治三十七年にして雜貨店並に旅館業を營み勤勉の聲高く労働に忠實にして毫も一攫千金的の投機心を有せず、只實直にして厘毛を約して貯財をなし其の基礎を確立するに至れり、目下同地の邦人間にも頗る信用を博し居れり、吾人處世の道は只一つのみ正直なれ勤勉なれ忠實なれ眞面目なれ如何なる難境に處するも希望を以て光明をのぞみ勇進せよ誰か生活を苦痛也と悲觀する者ぞ生活は愉快也歡樂也誰か人生を無意義也と失望する者ぞ人生は有意義也實在也、而して如斯き觀念は只それ堅忍不撓の精神より生れ來るべきのみ、而して氏の經歷は活ける吾人の證人たるなり、氏が今日の位置と信用を博するに至りし所以のものは只如何なる困難に遭逢するも落膽せず常に勇氣を鼓して前進せし精神に基するのみ、

原籍地 深安郡引野村二百八十六番地

現住所 晚香坡市マーケットアレー街七十七番

旅館業

佐 藤 茂 平

電話一七一七

明治三十二年八月晚香坡上陸、明治三十四年の頃前記の個所に旅館業を開業せり、氏は廣島縣出身なるを以て、其因みにより屋號廣島屋と稱す、氏の資性朴直にして毫も浮華の態なし、然れども時によりては滑稽なる諧謔を交ゆる事あるを以て、其の無邪氣なる愛嬌はやがて營業繁昌の原因となり今日にては廣島屋は同地屈指の旅館たる也、近年又氏は旅館のみならず、其得意の手腕を揮つて、請負業に従事し、其方面に於ても氏は確かに成功者の一人と謂ふべき也、氏は又同縣人の利益を思ふ事多く現に廣島縣人の會計として會の發展擴張に従事せり、氏は熱心なる佛教信者にて西本願寺は氏に托するに同地支部建設の創立員及會計の重職を以てせり、而して氏は其の方面に熱心に盡力し業務に暇あれば自己に托せられたる事務を忠實に實行すべく奔走せり、氏は思ふに一攫千金的の才子的成功者に非ず然れ共着々として自己の抱持せる目的の實行に従事し、勤めて倦まざるの精神に至つては氏の特性の最大美點也と稱すべし、敏捷にして輕薄なるより實直にして確實なるは優れり、氏より願くば益々特長を發揮し、目下經營せる事業即ち旅館及請負等に於て大に將來の成功を期せよ、

原籍地 加茂郡下見村

現住所 晚香坡パウエル街三〇九

理髮及玉突業 中川源太郎

妻帯

電話二七二一

二十五年北米加州桑港に上陸し、同地に滞留する事約三年に及びしも、不幸目的を達するに至らず即ちアラスカの各地方を経て三十年英領晚香坡に來り、ビクトリヤにて理髮業を開業せしは三十三年の頃にして更に晚香坡に來り、理髮業を開業し傍ら玉突業を營めり、氏は理髮業に對し特別の技能を有する事とて、華客の數も非常に増加し業務日々に盛況に向ひつゝあり、同時に玉突業も着々發昌し、氏は日夜其の爲めに忙殺されつゝあり、

原籍地 安佐郡可部町
現住所 晚香坡パウエル街二十二番
牛乳小賣及洋食店 三宅隆吉
明治三十三年英領晚香坡に上陸し、七ヶ年間程同地に於ける牛乳卸小賣商店に働き、主人より非常なる信用を博せり、之氏が勤勉正直以て店務に従事せし結果に外ならざる也、該主人よりの信用を以て三十九年四月獨立營業を開始するに至れり、開店以來日猶ほ淺しと雖も、從來主家に働かし信用もある事迎業務大に繁榮に赴き、尙前途有望の青年として望を囑せられつゝあり、成功の意義は自己が目的とする所を飽く迄遂行し之に到達するに外ならず、此の點に於て氏の堅忍は必ず將來の成功を遂行すべきを信す、

福岡縣

原籍地 築上郡葛城郡字奈古四百三番

現住所 晚香坡市

中塚幸治

三十三年四月英領ビクトリヤに上陸し、直ちに晚香坡に來てステブストンの漁業に従事し、ルベノウツエー商店の店員として勤勉忠實に勤務せり、同店は該市第一流の商店にして取引盛大業務繁榮を極め居れり、氏は同所に勤務する事四年、大に店主の信用を博せり、然り正直は最良の政策也、之豈に政治界外交界のみ適用すべき格言ならんや、以て總ての場合に應用し得可きなり、殊とに着實信用を基礎とする商業界にては大に其の然るを覺ゆ、氏は其間に一千弗餘の貯蓄をなし、之を資本としてゲヤシペー島に於てシングル伐出の事業を開始せり、目下使用者三十名の多數に上り、非常の發展をなしつつあり、一つの成功はやがて他の成功の階梯なり氏が商店にありて一千弗餘の貯蓄をなせしは一つの成功也、而して之を基礎として更に大なる成功の塔は建設せられつゝあり、成功の意義は極めて單純なり、換言すれば正當なる手段を以てせる目的の遂行即ち然るのみ、氏は又公共的精神に富み、斯かる場合には卒先して之に奔走せり、三十八年の日露戦争に際し、奮つて軍資の献金をなし、又同地の邦人にも熱心之を勸告せし如き以て其の一例となすに足る、

原籍地 築上郡八津田村

現住所 晚香坡パウエル街

吉田喜代藏

電話E二四六〇

三十三年晚香坡に上陸せり、氏が渡米の決心を起せしはその當時友人某氏の勸告により、一事業を起さんとする希望止み難く、少壯氣鋭氏は非常の事をなすには須からく非常の危険を侵すべきものとし、大膽にも密航を企て目的の米國に渡航し來れり、此間に於ける氏の苦心察するに餘りあり、然れ共維新前後知名の先覺者は當時政府の禁制を侵して密航を企て、成功の光榮を荷ひし者多し、氏の意氣や壯也と謂ふべし、氏は上陸後勞働に従事し、自ら青年間の指導者となり、日英勞働事務所を前記パウエル街二百十六番に設け、専ら同胞勞働者の利便を計りつゝあり、氏又同地に於ける同胞勞働者の賃銀一般に低廉なるを痛嘆し、自ら進んで白人雇主等と折衝の任に當り、遂に彼等を説破し我同胞の賃金の増加を計りし如き、氏が如何に同胞を念ふの同情深きを察知し得可きなり、同時に又如斯き資本家は勞働者の難局に處し、快刀亂麻を斷つが如く之を處置する氏の手腕を見るに足るべし、事務所は本邦勞働者の機關として同胞の利益を計ると共に正直着實を以て資本家たる白人の利益をも注意しつゝあれば、兩者共に非常の好評あり、事務日を追ふを繁劇に赴き、事業益々盛況を呈しつゝあり、

原籍地 築上郡西角田村

現住所 晚香坡ウエヌミスター街二二八

有間彌太郎 郎 妻帯

氏は故郷福岡縣築上郡推田町に在りし時より寫真業を營み居りしが、明治三十一年奮然決する所あり、寫真術研究の目的を抱ひて英領晚香坡に上陸せり、同地加奈太メソヂスト教會の信者となりて傍ら寫真技術に關する學術を同地知名の寫真技師に就きて研究し、其結果大に修養する所あり、明治三十五年現住の場所に寫真業を開業せり、充分の知識經驗ある事とて業務忽ちにして非常の繁榮を來たし、氏が熟練なる伎倆は邦人間噴々の好評あり、將來の發展を見る近きにあらん、幸ひに自愛する所あり、

原籍地 築上郡築城村字巳の師

現住所 晚香坡市アレキサンダー街三百番

旅館業 宮崎彦一妻帯

二十九年二月英領晚香坡に上陸せり、氏は先づ將來獨立業者たるべき資金を貯蓄するの必要を自覺し、身を漁業に投じて一意専心其の目的に向ひて奮闘し、二年余にして充分の資金を得、スーマー街に旅館業を開業せり、氏は飽く迄其の奮闘的精神を維持したり、否其精神は前途の發展を望んで炎々として氏の胸底に燃えたり、其結果未だ五年ならずして現時の家屋にては狹隘を感ずるに至りし程の隆盛を來せり依て三十九年六月アレキサンダー街三百番に地をトし一層の壯麗なる家屋に旅館業を營むに至れり恐らくは晚香坡に於ける邦人旅館の最大なる者の一つに位せん氏は又宿屋組合の一人にして組合の事業に盡力する事多し、同縣下より來れる人に對しては氏は出來得る丈親切なる保護を與へ、同業者の先輩として大に尊重せられつゝあり、氏の今日あるはあらゆる困難を排除して、自己の運命を開拓せしに依るのみ、薄志の徒弱行の輩は一難來れば其目的を捨て、其所志を翻し遂に救ふ可らざる失望に陥れ共、希望ある奮闘の勇士は然らず、困難は却つて其の決心を固うし、其勇氣を奮はしめ、其目的を到達するに至る也、氏は既に成功の人也されど小成に甘んずるは大志ある氏のなさゝる所其手腕を持つて除るに將來の發展を期せられん事を、

神奈川縣

原籍地 横濱市福富町二丁目六十八番地

原住所 晚香坡パウエル街三百三十一番

石川勝藏

電話 一三三五

明治二十三年十二月晚香坡上陸、明治廿八年同市アーケード街にて雜貨商を開始す、明治三十三年前記の個所に旅館等を開業せり、氏の熱心と勤勉とは暫くして非常の繁盛を招き益々其の發展を計り居れり、力を一方に傾注するの必要を悟り、明治三十六年雜貨店を閉店し、専ら旅館の經營に従事す、氏又公共的事業に盡力する事少からず、現下晚香坡組合の會頭及同縣人會の會計を勤め、兩者共忠實に其の將來の發展を企劃されつゝあり、



原籍地 横濱市戸部町

原住所 パウエル街四百五十七番

雜貨商

大 屋 鷲 次 葉 帶

電 話 二 四 二 五

一事を成効せんとするには、少なくとも十年の歳月を費消せざる可からざるは、殆ど一定の軌道と云ふも不可なかるべし、即ち事業に於ける十年計劃は又人生の十年計劃なり、

大屋氏は明治二十二年晚香坡に渡航したる一人にして、十數星霜を経過する間に氏は開運の寵兒となりぬ、開運は座して得らるべきにあらず、額に汗して幾多の辛勞を嘗め、常に節儉主義を以て奮闘したる結果のみ、二十二年頃の晚香坡は雜然たる開港場にして、今日の如きものにあらざるは勿論、身を勞して働く仕事は製材の業なりき、氏も又製材の勞働に従事し、一意専心、有ゆる辛勞を経て、遂に獨立業務を開始し、滿腹の希望と熱心を以て、寢食を忘ればかりに熱中し、財を得れば土地を購ひ、着實勤勉怠る所なく、一歩一歩を進めて、遂に巨萬の財力を貯積するに至りしは、實に價値ある成効にして世間の投機者流とは全く其趣を異になり、されば氏が商店の物品は確實なりとの評判高く、敢て競争するにあらざるも、一般の顧客は信任を措き、商店を信するは即ち氏を信するもの、其性格に於て他を凌ぐべき威力あり、自ら紳士風を飾らざる所、誠に奥床しく、同地方の成効者中に於ける屈指の一人也

原籍地 足柄上郡吉田島村

原住所 晚香坡アレキサンダー街

旅館業

青 木 米 吉

電 話 一 一 七 五

明治二十年英領晚香坡に上陸し、直ちに北米シャトルに赴き、同地に於ける同胞農業家の始めにして又ハツプス請負業の卒先者なりき、廿四年鐵道事業の勞働に従事し、當時セクションゲヤングの組長となり、パナマに行き、桑港に亘り、廿七年英領晚香坡に來りて漁業に従事し、爾來當地に居所を定め、加奈陀東洋大鐵道會社の人夫受負を爲し、又旅館業を開始し、ウエスミスター街、アレキサンダー街三百十三番に家屋を建築し、さかみや屋敷の下に目下盛大に營業を営まれつゝあり、而して氏は又其傍ら公共事業に盡力さるゝ事少からず、日清戰爭の際及海濱の際の如きは卒先して不幸なる同胞を救助すべく寄附金の募集に奔走して之を本國に送付せし等其他收舉に遑あらず、氏が今日の成功ある實に多年來千辛万苦を嘗め來りし賜物なり、或はパナマに行き或は桑港に行き或は農業に或は漁業に、東奔西走席暖まるに遑なく身体休せるに暇なかりき、あゝ氏は奮闘の勝利者也、光榮ある運命の開拓者也、而して吾人に向ひ最も適當に堅忍不拔の精神を保ち萬難を排除して勇進せば必ず成功すべき事を教訓する事實の活歴史也、薄命を嘆じ逆境に泣く悲觀者流は勇壯なる氏の經歷に鑑み大に發奮勉勵して可なり、

原籍地 高坐郡寒川村字岡田

原住所 晚香坡ウエヌミスター街二百廿八番

旅館業

内 海 要 藏

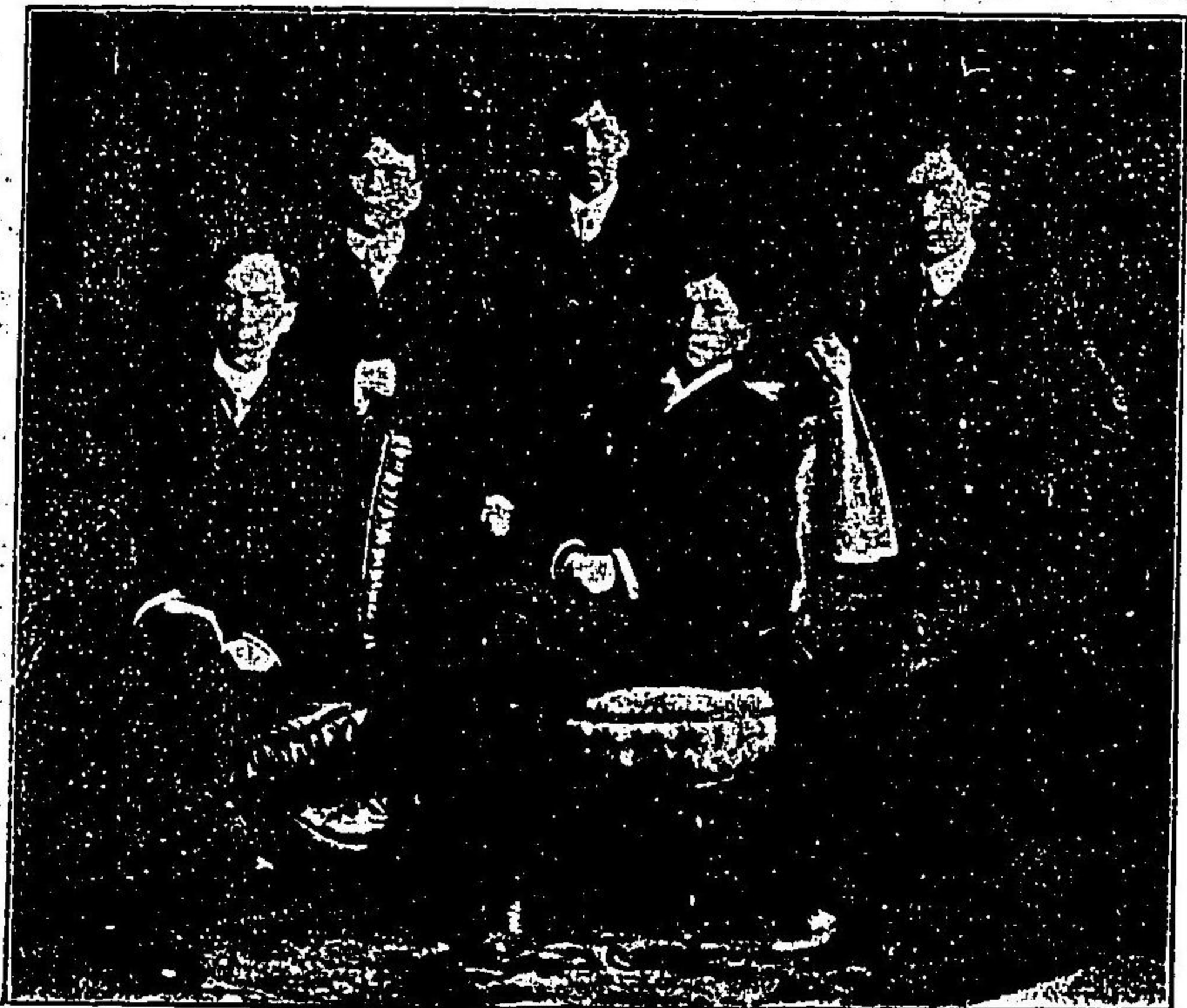
晚香坡に於ける當初第一の旅館は即ち濱村屋を措いて他あるなし、當時其他の旅館として僅かに長尾旅館只一戸ありしのみ、而して濱村屋旅館は氏が苦心經營の結果之を繼承し之を今日の如き盛況に擴張せし所なり、氏の濱村屋を繼承するや忠實勤勉旅客の待遇等頗る可憐親切を極むる所より一度晚香坡に至る者は旅館濱村屋を知らざる者なし、此の點に於て氏は確かに此事業の成功者なり、傍ら地方に商業を營み正直實着を以て同業者にも非常の信用を博し、兩々相待つて繁榮を競ひつゝあり、氏の得意思ふべき也、然れ共成功は偶然又は僥倖を以て容易く獲得せらるべきものに非ず、谷を渡り峯を攀じ汗を流し足を勞し初めて茲に山岳の絶頂に立ち四顧爽然明美の勝景を瞰下するが如く、此人の成功も又山岳の絶頂に似たる者あり、其の富や巨萬其事業や偉大以て社會に活躍する勝利の成功者は即ち世人の羨望する所なり、何んぞ計らん其の内面其の過去はあらゆる困苦辛酸を以て充たされ只總ての場合に於て自己の本領を確持し泰然として動かす遂に自己の手腕を以て光榮ある運命を開拓するに至りしものなるを、成功は即ち山岳の絶頂也、事は必らずしも大なるを要せず、努力奮闘を以て自己の目的を完成せしは總て之成功者也、更に大なる成功を計る所あれ、

原籍地 神奈川縣三浦

現住所 晚香坡アレキサンダー街四七四

教育事業 小 塚 齊

小學教育は第二の國民の性格を形成せしむる重大なる國家的事業に屬す、氏は晚香坡地方に於て邦人の小兒を教育すべき教育機關なきを痛嘆し百方苦心の結果卅八年九月五日日英學院を開校するに至れり、小村大使は氏の功勞を多とし卅八年九月百五十弗を送りて年來の苦心を賞讃せり、卅九年一月十二日國民學校を開校す、卅九年七月新校舎落成を益々盛大に赴きしを以て同年九月教育飯田かね子並に英語教師、ミッスブレイアーを招聘し、校運一層の隆盛を加ふるに至れり、
(圖に示したるは晚香坡青年團体の會員にして殊に此頁に挿入す)



原籍地 横濱市長者町四丁目四四

現住所 晚香坡市

洋服裁縫業

新井重次郎

明治三十三年七月英領ビクトリヤに上陸せり、而して氏は同地に於て獨力洋服裁縫業を由業し其の巧妙なる伎倆は忽ちにして非常なる店務の隆盛を來らしめ日々發展の域に進みつゝありしが不幸にして氏の身体は病魔の侵す所となりしを以て一時歸朝して靜養し病癒の全癒するを待て三十七年四月再渡航し晚香坡に來たれり、當時偶々田中氏の洋服店を創業するあり、氏は即ち田中氏を助けて明治三十九年八月、獨立業者となりて開業し、猶ほ淺きに係らず、年來の經驗は着々業務の發達を來たしつゝあり、

三 重 縣

原籍地 津市藏町

現住所 パウエル街

小 石 定 吉 妻帯

三十五年華州シャトルト陸、氏は先づ將來社會に立ちて事業を經營せんと欲せば之に伴ふ文明的素養の必要を自覺し、進んで同地商業學校に入學せり、一意専心學業の修得に勉勵する事三年に及び、三十七年五月目出度く同校卒業の光榮を荷ひ、續で英領加那太ステップストーン漁業者團體の事務員となり、氏の卓越せる技能と熟練たる事務的知識とは居る事未だ一年ならずして同團體の理事となり同團體の爲めに盡瘁せらるゝ事一方ならず、三十八年一旦歸國し、再渡航するや直ちにP、R、會社員となり、當時偶々晚香坡宿屋開業者間に激烈なる商業上の競争あり氏は大に之を痛心し専ら力を其調停に致し、熱心以て調和の効果を見るに至れり、歸朝當時在晚香坡の宿屋を本邦人に紹介するに努められし由なり、憊殻たる氏が事業經營の精神は多數の大工左官石工等を内地より移民せしめんと計畫せしも事不幸にして失敗に了れり、目下は大石正己氏等と共同してニューラレンジ移民の計畫に従事し着々成功の歩武を進めつゝあり、

原籍地 朝明郡天下鹿村

現住所 晚香坡市

山林業 安田喜代松

二十八年金州丸の水夫となり、戦争後英領晚香坡に上陸し、漁業に従事せしこと六ヶ年に及び其他山林事業を經營し或は外國船の機關士となり自己の運命を開拓すべく全力を傾注せり、從來従事せし事業は山林にまれ漁業にまれ、氏は其の首領として大に其才幹を發揮せり、牛尾となるは易く鶏口となるは難し、其間に於ける氏が苦心之を察するに餘りあり、堅忍なる氏は一難來る毎に更に一倍の勇氣を奮起し、遂に自己の勤勉努力を以て今日の境遇を作るに至れり、目下山林伐木業に従事し、大に發展の域に進みつゝあり、

原籍地 一志郡矢野村

現住所 晚香坡市

鯖 戸 山 松

明治廿七年五月桑港に上陸米國に滞留すること約七年歸國後直に早田大學に入り卒業後郷里に於て兼て計畫せし生産業に従事せんとせしも時尚培養中に屢するを以て産業の研究を爲さんとの目的を以て再渡航の途に付き本年五月一日晚市に上陸して暫く開墾事業に従事せしが偶然の縁故によりて英領哥倫比亞拾白嶺の日本人漁者團體の理事として招聘せられて今其職に在り、

熊 本 縣

原籍地 飽託郡河内村舟津

雜 貨 商

島 村 岩 吉 妻 帯

明治十八年加州桑港に上陸し、同所に滞在する事約二ヶ年、不幸にして辣腕を揮つて活躍するの機會を捕捉する能はず、明治廿一年轉じて英領晚香坡に來れり、當時晚市及其附近に日本人の在留する者僅々五六十名に過ぎず、之を以て至る所邦人あり憂若相扶け失敗相慰むる今日の現況に比せんか志を成すの難易雲泥の差異ありと言ふべし、氏や此の難境に處し心中大に決する所あり、同所リーミル勞働に従事し、傍らレザ川に來り漁業に従事する事十數ヶ年此間得意あり、失望あり一盛一衰の時代を経來つて茲に數千の財貨を貯蓄し得たり、其の間に於ける氏の奮闘の活歴史は筆紙豈に之を記録し得る所ならんや、氏は其の蓄積し得たる資金を以て雜貨商を開始し今や其の全精力は店務の經營發展に傾注せるゝに至れり、其結果業務忽ちにして非常の繁榮を致せり、明治三十三年フレザ漁業者團體より選出されて其の團長となり同年及三十四年の二年度に亘り、一時事精止むを得ざる所ありて之を辭職し、三十八年更に選出されて其の任に當れり、目下使用人の總數廿名の多數に上り、同地方に於ける同胞間に非常の信用ありと言ふ、吁氏は實に自己の努力を以て今日の光榮ある運命を開拓するに至れり、其熱識と其奮闘は以て吾人の模範たるに値す、

德 島 縣

原籍地 勝浦郡楠原村

現住所 晩香坡パウエル街二四五

齒科醫士

森 平 謙 太 郎

明治廿八年英領晩香坡に上陸せり、氏は性質醫學に興味を有し、且つ其の方面に向つて特別の才能を有しければ、州立大學に入學し勉學多年の効空しからず氏は良好の成績を以て大學を卒業し、ドクトル、オブ、メヂシンの學位及びドクトル、オブ、デンタル、サーヂエリーの稱號を得たり、爾來氏は其の習得せる醫學的智識と、多年修練せる卓抜の技能を以て醫院を開業し、忽ちにして邦人間に非常の好評判を博するに至れり、嗚呼學成り業遂げて得意の伎倆を以て醫院を開業するに足る氏も又成功の士と稱すべし。

千 葉 縣

原籍地 千葉縣香取郡

現住所 晩香坡美以教會内

牧 師

鏑 木 五 郎

大才を抱ひて他を願使用する略に乏し、教會の事にて嘗て紛擾ありしか如く、牧師の罪か信者の罪か、之れを知らずと雖も、晩香坡同胞の爲めに貢献せし事蹟に至りては、氏か生涯の歴史を修飾するに價す、所謂選舉權獲得問題に於て、在留日本人を代表して英本國に派遣せられたかる如く、且つ新聞紙を起して一般同胞が進歩上に貢献したる如く、内外の間に盡瘁せし努力は決して没すべからず、誰人にも長短あるは神ならぬ身の免る可からざる所、着々として氏か事業の事蹟は良結果を奏するの一事は決して凡才にあらず、氏か性格は神に通じ、俗人に通ず、餘りに西洋風あるは日本人の習慣上に入り難き點あるやも計られずと雖も、確に晩香坡に於ける雄將たり、

専ら教會の事業に盡瘁し、小學校及幼稚園を起して、教會の事業に附屬せしめたる手際などは其才略の凡ならざるなり、自己の爲めにも計るべく、益々同胞の上にも盡されんことを望む、

現住所 晚香坡市

永尾 唯一

晚香坡に於ける先輩者の一人として、又其識見の存する點に於て、氏を訪門するの必要を知り一夕同氏を住宅に尋ねたり、

自ら云ふ、二十年間異郷に住して其志を得ずと或は終生志を得ざらんも知る可からず、一度は公共の爲めにも盡瘁せしが、近頃は空吹く風のから寒さ、餘りに飛出さぬ積りと、

氏は語學の素養に於て且つ日本人兒童教育に關する氏の意見は只だ吾人をして首肯せしむるものあり、黙して云はざるは語るに足らずと爲すの意ならん

氏は十七八年前日本より渡航したる際は好個の一少年にして、上陸後は語學の素養を得んとして勉學し、後ユニオン炭礦に従事し、次で鐵道人夫請負等を爲したる事もあり、當今は代理業を爲し居れり、七度志を得ずとも又八起の時期來らん、氏が捲土重來の機運は夫れ孰れの時ぞや

原籍地 東葛飾郡岡田村

現住所 晚香坡バウエル街三百五十五番

漁業

關根 勇 五郎 妻帯

電話 二一八五

明治十九年の頃氏は海上運送業に従事し、水夫となりて太平洋上を往復せり、茫々たる大洋澎湃たる海浪、氏は克く戦ひ、之を侵して幾年か冒險にして勇壯なる海上の生活を送れり、其後斷然自覺する所あり、英領晚香坡に上陸し、スキナ川ステプストン川の鮭漁業に従事し、鹽鮭業を營みて盛んに之を日本に輸出せり、鮭漁業其物は經濟上の價値は原始的生業に過ぎずと雖も、之を精製して輸出を計るは既に文明的商業の範圍に屬し、富の分配商品分布の上に重大なる關係を有す、氏は即ち漁業のみに利益少きを看破し率先して之が輸出業を營むに至りし也、氏が先覺の明は吾人の敬服措く能はざる所なり氏は又總ての事業的施設に於て團結の勢力あるを認識し、スラプトン漁業者團體の發起人となり、又主動者となりて團體の組織經營に奔走せり、公共的事業のために盡瘁せられし事一方ならず、同團體の重役に擧げられ又副長として團體の進歩を計りし事多し、其他同地に於ける日本人間に種々なる盡力をなし、本業の傍ら、旅人宿を開業し、氏が信用及手腕は忽ちにして、非常の繁榮を來たし將來の發達括目して見るべきものあり、土地及家屋等も買入れ、着々利福を來たしつゝあり、

山 口 縣

原籍地 玖珂郡新庄村字佐保
現住所 加奈陀巡遊中

活動寫真業

山 本 元 次 郎

二十四年加州桑港に上陸し、同地に滞留する事茲に三年、二十七年同州ロスアンゼルスに至り、西洋料理店及西洋風呂及雜貨商を開業し、同地に止まる事十數年、店運の隆盛は日に月に繁榮に赴きたり、明治卅八年偶々日露の親交は仁川港頭一發の砲聲に破られて世界の兩雄干戈を交へ滿韓の野に戦ふに至るや、氏が愛國愛世の情は腦裡に燃えて炎々烈火の如く、桑港に歸りて日露戦争に關する活動寫真業を開始し、大平洋沿岸及東部地方を廻遊しつゝ、シヤトルに來り其れよりアラスカ地方を経て英領加奈陀に入り目下加奈陀の各地を巡遊中なり、加奈陀地方の巡遊を終らば紐育に至り、それより南米諸國及濠州等を経て歸朝する計畫也、活動寫真を利用して世界一週を企てられし氏の壯圖や雄大なりと云はざるべからず、米國の各新聞は筆を揃へて氏の壯舉を讚し大歡迎をなしつゝあり、廿世紀男子の事業は須らく世界的ならざる可らず鎖國主義を標榜して海外的發展を禁止せしは既に封建の舊夢に屬す、日露戦争の勝利者として亞細亞民族の先覺として日東の健兒は大に世界的活舞臺に活躍するの要あらん

原籍地 山口縣大島郡屋代村字神領
現住所 晚香坡ヘスチング街二四六

旅館業及時計商 新原岩治郎

妻帯

三十一年八月英領ビクトリヤに上陸して、一年間同所に滞在し、後轉じて晚香坡島内屈指の某炭坑に居住し、時計商の傍ら勞働をなし、一意惠心資金の蓄積に従事せり、居る事約六年氏が熱心と勤勉は今や獨立營業を開始するに充分なる資本を得たり、氏は即ち此の運命の一轉機に際し三十八年六月晚香坡に來り前記の所に薩摩屋旅館を譲り受け、旅館業を開業せり、氏は以前に數倍せる勇氣を以て之が經營に任じ、開業以來日尚ほ淺きに拘らず、大に盛況を呈せり、其傍ら時計修繕等をも營まれつゝあり

原籍地 玖珂郡岩國町
現住所 晚香坡パウエル街

理髮職 三津田 竹次郎

三十五年三月英領ビクトリヤに上陸し、直に晚香坡に來りて、理髮職人となれり目下パウエル街中川源太郎氏方に働きつゝあり、氏は天性器用にして且つ非常の熱心を以て其業務を習得しつゝ、あれは、一個の獨立業者となりて手腕を揮ふの日も近き將來に於てあらん、同地一般の同胞も氏の熱誠と勤勉には大に敬服し居る程なり、氏よ常に此精神を維持せよ、令名は富よりも優れり永く其信任を得て着々其目的に向つて進行せよ、如斯して氏は即ち光榮ある成功の人たるを得べし

福 島 縣

原籍地 大沼郡小千谷村
現住所 晩香坡市

吉 澤 安 吉

明治十九年十二月英領晩香坡に上陸せし時は同航者十一名にして、今日晩香坡に居住する同胞は長尾常盤杉山の三氏のみ氏は當時同所へスチングン「ミルト」に勞働するの外他に適當の職業を見出す能はざりき、人若し自己の才能に適當する位置に居らば逆境と雖も順境に均しと云はざる可らず、何んとなれば其の人の才能は必ずや困難を打破して運命を開拓し得可れば也、然れ共胸中焔々たる抱負あり乍ら甘んじて勞働に従事せざる可らざる氏の困難如何ばかりぞや、當時の賃金は一日僅かに一弗にして食料は雇主の負擔なりき、二十五仙の金を以て購入せし日本米は一度の食餉にも足らざる程なりき、加之醬油味噌等も無く生活の不便殆んど言語に絶する位なり、幸ひ大濱造船所技師ジョン「テラー」なる人あり、四十九年前一度日本に渡航せし事あり氏及其他同胞のため通譯の勞をとりつゝありき、今日晩香坡第一街路たるグラン「ベル」街の如き其の當時は腰の邊りまで長靴を穿つ位悪路なりき、此の間に立つて毫も失望落膽せず否百倍の勇氣を鼓して奮闘せられし氏の精神や誠に壯烈を極むと云ふべし、デス「レリー」は曰く成功は目的は間斷なき實行にありと、然り人生須らく遠大なる目的を立て、之を實行せよ、而して彼は成功の偉傑たらむ、幸に自重せよ、

原籍地 北相馬郡守谷町

現住所 晩香坡市ウエスマスター街二百三十五番

洋服商

田 中 虎 雄 妻帯

電話 二四八八

氏は明治二十三年頃東京にて洋服商を営みしが當時不景のために奮然志を決して勞働者となりて函館に渡り獨立製造を開始せんがため一方ならぬ苦心をなし事業漸く端緒に就きたるに、二十七年日清戦役のために不振を來たし、同年帆船に乗込み外國船の船長に依頼して渡米したり當初ビクトリアに上陸して船長の宅に居住し洋服商店に働き一時スタブストンに趣きて漁業し、氏が苦心節約の結果蓄積し得たる數百弗の金員を共同者のために持逃されし事もあり、されど氏は如何なる困難にも屈せず、その艱難に引續き友人と共に漁舟を購ふ用意をなしたるときに漁舟を竊まれし事もあり、奮つて漁業に従事せり、氏が獨立事業の經營は一八九九年に始まり三十七年二月現住に移轉して一層業務を擴張し三十八年一旦歸朝して滿洲朝鮮地方を漫遊し三十九年五月再渡航す、氏は同地に於ける邦人洋服商を開始せし者の矯矢なり、業務の傍ら公共團體に盡瘁せられし事一方ならず、私立學校時代の學務員にして今猶國民學校の學務員たり、誰か氏の活歴史を讀んで發奮せざる者あらむや、聞く函館より渡航中の如き食料に欠乏し爲めに海馬を銃殺して一時を凌ぎし事ありと一切の困難に打勝ちし氏の勇氣は今日成功の基礎也、

埼玉縣

原籍地 北葛飾郡豊岡村

現住所 パウエル街

旅 館

内田 千代七

晩香坡に居住する同胞の先輩者として、從來公私の間に盡瘁し來りたるは云はずもかな、二十年間晩香坡を中心として、一身の發展を企圖したる經歷は豈に一頁の紙幅を以て記載するを得んや、

内田旅館は内田氏の性格を代表し發揮するものたり、額に汗して而して貯積したる金額は如何に光輝あるものなる可きか、氏と同時代の人々は、僅に指を數名に屈するに過ぎず、二十年前の渡航者は悉く辛慘を嘗めざるものなく、甚しきは饑饉に迫り、食を求むるに困難したるものにて、今日とは全然其趣きを異にせり、氏は此境界を超越して、稍々順境に向ひ、進んで今日あるに至りし所以のものは、皆其れ奮闘的努力ありしのみ、二十七八年の頃には雜貨店を開業せしが、現今は子息に譲りて、専ら旅館と製材會社の人夫請負を爲し居れり、土地を購ひ家屋を造り、堂々として高樓を異郷の天地に建造して、自由の境たらしむ、海國男子の本領は氏が已往に於ける活歴史なり、
今や進んで益々同胞一般の利福を計らんとするのみならず、同業者間の利益を計りて、此等に盡さん
とす、加奈陀の地之れより開發すべく一身の榮光も又之より加はらん、尙ほ一層の大成效を望む、

原籍地 北葛飾郡豊岡村字西關宿

現住所 晩香坡パウエル街三五九

雜貨商

内田 仙太郎 妻帯

三十五年英領晩香坡に上陸せり、三十九年三月前記の場所に獨立營業を開始し雜貨日用品販賣に従事

するに至るまで、四年の歲月は實に氏が努力奮闘の戰場たりし也、期せよ上帝は逆境の勝者に向つて成

功の榮冠を授くる事を上陸後獨立業者として社會に活動せん事を熱望せる氏が勇猛心の前には困難辛

苦も其の力を揮ふ能はざりき、聞説く皇帝ナポレオンは不能の文字なきを傲語せりと、然り天下豈に

凜然たる男子の決心を以て遂行し得られざる事業あらんや、氏の勤勉實直は壯者間稀に見る所也

群 馬 縣

原籍地 佐波郡伊勢崎町
現住所 晩香坡市

鮑、罐詰鹽鮭輸出

相 川 之 賀

二十年前北米に渡航し、竊に英領方面の有利にして、將來の發展地なることを觀破し、明治二十年四月八日、氏の知友たりし吉澤氏外三名の日本人はスキナ河の漁業に従事する端緒を開始せり、當時加奈陀汽船會社は始めてスキナ河に航路を開始したる時代にして、同方面には一名の日本人とてはなく、不毛の地に進入して、海邊に粗末なる家屋を造りて、白人の漁業者二十一名と氏等一行を加へて五名の人數なりき、天涯萬里の異郷に彷徨して、胸中何等の慰藉なく、鳥も鳴かずば、春光の緩急を眺望するの餘祐なく、白人と海國男子の腕較べにして、意氣頗る熾なるものありしと聞く、四十二日間同地に滞在して漁業に従事し、以來同方面の有望なるを自覺したれば、常に此方面に目を注ぎ、或るときは古代人類の足跡を研究し、氏の手に依りて學者間に頌たれたる古器物も少なからず、爾來水産業に従事して今日に至れるが、氏は鮑罐詰法を研究し、記者も晩香坡にて氏と會したるときは、其製品を頌たれたり、元來熱心なる性格は一時に風雲に乗する氣質にあらざるも、心の奥底に收むる氣力は少壯者の及ぶ所にあらず、殆ど毎年歸朝して斯業の發達を企圖しつゝあり、恐く一大成效の日あらん。

茨 城 縣

原籍地 眞壁郡上妻村
現住所 晩香坡市パウエル街

旅 館

中 山 訊 四 郎

仁俠の志に厚きは稀に視る所、一度志を決すれば猛然として肉薄し、弱を救けて強に當るの意氣は氏を識るもの、共に認知する所たり、故に千軍萬馬の間を往來して、一瀉千里の勢を以て事に處するの器略は氏が尤も長所たり、北米に渡航して八星霜、知る人を知る、氏を知らぬものは新參のもの、みならん、有ゆる世路の辛苦と戦ひ、而して半世を経過し、人生徐ろ秋風に吹かるゝにあらざるも、年と共に思慮を新にし、翻然として自を顧み、撫然として心に誓ひ、又少壯時代の中山氏にはあらざるなり、ダイヤモンドの指輪、金時計等は、さらりと破壊して虚榮に憧憬せられたるを耻つ、粗末なる風彩を爲して始めて自身を覺り得たりとするの氣力は、氏が將來の人格に多大の幸運となるべきを信ず、一度はステプストンの河畔白人漁者と争ひし際は自ら同胞の先驅者となりて、白人をして心膽を寒からしめ、旅館を開業して歸來の情實を打破するに努めたるは、恐く氏が自身の利益にあらずして、全体の利益なり、侃々諤々の聲を放ては風手自ら當る可からず、業務に對しては正實、實直、同業者間又一異彩たり、晩香坡旅館組合の役員として益々同胞の發展に盡さんとす幸に自重すべし

大阪府

原籍地 大坂市中ノ島
現住所 晚香坡市

輸出入商

田 村 新 吉

記者は昨年十月晚香坡市に旅行したり、當時本書の材料を蒐集せんか爲めなりき、一日同氏を住宅に問ふて居室に導かれ、同商會支配人岡田惠治氏と卓を圍んで而して己往の歴史を物語られんことを乞ひたり、風姿堂々として一見政治家家風の偉あるは、氏か性格の一部を發揮するものならん、二十年間異郷の天地に居住して成効者の大立物と仰かるゝは決して偶然にあらず、空拳にして渡航し、裸体の身を以て一成効を爲されたる所故のものは又時機に投したるものと云ふへからず、自ら機會を造りて而して機會を利用し、着々として歩武を進めたる方略は寧ろ軍將上杉謙信の如き態度あり、成効は未だし、自らを語るの時期にあらずと謙遜するも、氏か事業上の商界に輸贏を争ふ唯一のものは、麥粉及材木の輸出にして、日本人向の雜貨とはなし、氣力横縦にして其時代より云ふも思慮盛の時代なり、吾人は他日を期して又語るの時あるべし、

岡田惠治氏は同商會の支配人心得として、田村氏の信任厚く、忠實勤勉、全力を傾注して商業上及貿易物品の仕入方を擔當し、前途頗る有望の位地にあり、

鹿兒島縣

原籍地 鹿兒島縣揖宿郡指宿村

商 業 池水忠次郎

明治廿七年晚香坡市に上陸し三十三年十一月商用の爲め歸國す、三十四年七月再渡航して三十八年商用の爲め歸國し三十九年七月又々航渡自ら鹽鮭業を經營す、

明治三十四年及三十五年の兩回團體の評議員として盡力せり、共に英領晚香坡に於ける古參の一人として同胞間に推重せらるゝの人、前途益多幸多福ならんとを望む

原籍地 鹿兒島縣揖宿郡指宿村

商 業 滋崎直次郎

明治廿一年米國桑港へ上陸滯留三年間海員として航海に従事し其後加奈太に入國し當時「ロチハバ」より舊「ソオツチカム」間を往來して商業に従事し爾來今日に至り晚市及拾日頓にて漁業造及鹽鮭業に従事し亦兼て商行爲をなす

明治三十三年漁者團體の創立に當たり擧げられて評議員となり或は監査役となり副團體長となり次に明治三十九年度の團體長に選舉せられ同胞間の先輩者として推重せらる

福井縣

原籍地 今立郡服間村

現住所 晚香坡アレキサンダー街三二八

僧 侶

佐々木 千重

電話二一四二〇

氏は嘗て京都本願寺派の大學生に學び、卒業後印度方面に派遣せられ滞在五年釋尊の遺跡を訪ひ或は往古の聖典を探り信念學識共に一層の深遠を加えぬ、明治三十八年十月十二日佛教傳道寺院建築の使命を帯びて本願寺より派遣せられ、氏は廿世紀佛教界のフランシス、ザビエとして渡來せり、氏は其の熱烈なる青春の思想と深遠なる多年の學識とを以て、説教壇上に立てり、説く所は佛陀慈悲の福音也、永却無量の愛の宗教也、一切衆生を無明の罪より救はんために來りし釋迦牟尼世尊の本旨なりき氏の熱心は遂に其の尊とき目的を到達するに至れり、同地佛教徒の盡力と氏が献身的の奮闘により、五千五百弗を投じて同市アレキサンダー街に會堂を建設せり、氏が多年の素志茲に酬ひて氏は一層佛恩の無量に感泣し益々忠實に傳道の事業に精勵せられつゝあり、目下土曜日に臨時出張し、日曜には六七十名の禮拜者あり、同地佛教の今日あるは實に氏が盡力に基すと云ふも過重に非ず、猶其外に午後三時より七時迄英語學校を寺内に開き、邦人の利益を計られつゝあり、氏又同氏移民保護のために盡瘁せらるゝ事少からず吾人は氏を以て靈的事業の成功者として稱讃して憚らざる也

富山縣

原籍地 富山市仙石町

現住所 晚香坡市

山崎 寧

茫茫たる万里の大洋、風浪怒濤と戦ひしは氏が奮闘的生活の序幕なりき、或る時は軍艦の水夫となり、或る時は帆船に乗りて氏は勇敢なる航海者の生活を送れり、二十五年の頃氏は心中大に決する所にあリ、英領晚香坡に上陸し、暫らくして此度はラッコ船に乗込み一年の歳月を送れり、其後明治廿七年より約五ヶ年間、ステブストンに於て漁業に従事し、大に漁業団体の必要を看破し、団体組織の主動者となりて大に盡瘁せり、団体の今日ある實に氏等熱心なる漁業者の盡力に負ふ所多し、曾て日本在留民の撰擧權の有無に就き、本間留吉、田村新吉の諸氏と其意見を一つにし、ビー、シーオ判所に於て勝訴となりしも英國本國の大審院にて敗訴となれり、氏は當時熱心なる撰擧權主張者にして該事件に關しては殆んど寢食を忘れて奔走し百方盡力せしも敗訴に期す氏の遺憾思ふべき也、其後更にビー、シー鐵道會社の人夫請負をなしたりしが、同地古屋氏の奪ふ所となり、目下鹽鮭仲買業に従事せり、氏や既に各種の事業に對して貴重なる實驗を積めり、氏が敏活なる經營的手腕はやがて過去の實驗と相待つべし將來の大發展を期すべきや疑を容れざるなり、

山 梨 縣

晚香坡市ウエストミンスター街

早 川 一 郎 著

明治三十六年桑港に上陸してより爾來三星霜三十八年晚香坡に轉じ多大の勞苦と忍耐を積み請負業及通譯を業とし北米時事社に入りて晚香坡支部主任記者となり同方面の通信を擔當し縦横の筆を揮ひて同地の工藝農事製造殖産に就て細大報道を怠たらず錯綜洒落の奇想は見得ざるも又佶僂贅牙の弊無く着實にして遠大なる志は常に吾人の知る處竊に將來の風雲を望んで暫らく地中のものたるの感は必ずや氏の懷抱する光明ならんか、

北 海 道

原籍地 北海道釧路國真砂町三七

現住所 晚香坡市

高 岡 熊 治

三十年英領ビクトリヤに上陸し、ステプストンにて水産業に従事する事八ヶ月、同年加州桑港に至り、翌年又英領晚香坡に來り、水産には關する事を研究せり、三十七年ステプストン漁業者団体の理事となりて同業者のために盡くすこと多く鮭仲買業を營み日本へ輸出し、三十八年スキナ川方面に於て水産に關する事項を研究し三十八年十一月同所より再び晚香坡に來たり、加奈太政府の設立に係る移民病院に入りて通辯となれり、日本移民に對する保護者の一人として其盡力一方ならずと雖も、氏の目的は將來水産業者たるに有り、氏は即ち其の目的を遂行せんがために各地方に歴訪して専心其の研究に従事せしなり、經驗は最良の教師又學校なり民は多大の實驗を経て、水産上に關する事は詳細研究を遂げ其の識見の該博なる優に專問の學者を凌駕するの觀あり、氏は目下止むを得ざる事情ありて移民病院に勤務し居ると雖も、多年の實驗を活用して遠からず水産業を開始するに到るべし、凡そ事業に着手するには何業たるを問はず、最初堅固なる基礎を作り置くの必要あり、即ち完全なる準備は成功の一階梯たる也、

東京府

原籍地 東京市本所區中の郷町
現住所 晩香坡

新聞業 飯田道左

三十八年八月シャトル上陸、日米商報社に入りて同紙の編輯に従事し、日米商業經濟の事情等に大に卓拔せる議論の筆を揮ひたりしが、不幸社長橋氏と感情の衝突あり意合せずして退社し、晩香坡に來り獨立以て加奈太新報を發刊して、専ら之が經營に任せられつゝあり、三十八年八月氏が晩香坡に來りし以來、加奈陀新報が非常の發達を遂ぐるに至りし今日迄の氏が慘憺たる苦心は誰か之を察知すべけんや、同地に於ける邦人の發達に伴ひ新聞事業は一層の必要を加ふるに至れり、同紙の健在を希望す、

原籍地 東京市赤坂區青山北町
現住所 晩香坡市パウエル街四百六十四番

醫師 秋山七郎

空手にして一朝巨萬の富を博取するものも海山異境に病魔に襲われんか、懷郷の念は油然として胸臆を突て幽愁の感慨は長歎大息の外あるなし、此時一身を托するは金銀珠玉に非ず、美味錦繡にもあらずして實に醫藥の他に便るべきもの無し氏の如き刀圭家の續々として門戸を開きて在留同胞の慰安を得んことは眞に喜ぶべきことなりとす

本書に經歷を記載すべき筈なりしも記者の不注意より渡米の年月、及職業を調査せざるが故に前後不明にして筆を執るに由なし茲に左の諸氏に對して其不注意を謝す、他日改めて紹介する所あるべく幸に寛恕を乞ふ

石川縣金澤市

貿易

富永 外次郎

廣島縣

鮭仲買

石原藤右衛門

佐賀縣佐賀郡

吉富 邦三

島根縣那賀郡野津村

漁業

佐々木 長作

北海道函館

仲買

吉崎 與七郎

佐々木氏吉崎氏は本書の賛助員として勞力を與へられたるにも關わらず、肝要の經歷は印刷後に着し、挿入するを得ざることとなりぬ、幸に諒察あらんことを望む

明治四十年五月十一日印刷
明治四十年五月十五日出版

編輯
行人兼

東京市神田區駿河臺四紅梅町六番地
石岡 彦一

印刷
人

東京市京橋區銀座四丁目一番地
ゼー、エル、カウエン

印刷
所

東京市京橋區銀座四丁目一番地
教文館印刷所

賣
捌
所

米國シヤトル市南第二街

古屋商店

英領加奈陀晚香坡パウエル街

河崎商店

M. FURUYA, Co.

216 SECOND AVENUE SOUTH

SEATTLE WASH.

日米兩國雜貨食料品卸小賣專業
活版印刷精米本邦行漁船切符賣捌
預金送金事務取扱

シアトル市南第二街二百十六番 電話メニオン
郵局一〇六九九

直輸出入商 古屋商店

在留同胞ノ便利ヲ計リ本店内ニシテ郵便局支局ヲ設置
致シ内外郵便爲換書留郵便小包郵便郵便切手賣下其他
ノ郵便事務取扱中候

各地支店
シアトル支店
バンクーバー支店
タコマ支店
ポートランド支店
横濱支店
神戸支店

東洋貿易

當會社の請負ひたる大北鐵道會社并に太平洋鐵道會社に使用する工夫五千人を募集す

日給 スポークン市以西 一弗三十仙
 スポークン市以東 一弗四十仙

但し仕事の種類に依り等差あり石炭積并に鐵車掃除は一日一弗五十仙以上月給四十五弗以上七十弗、ホーラン月給五十五弗以上七十五弗

一當會社の契約に係る大北鐵道并に太平洋鐵道は西英領晚香坡市より東セントポールに至る大會社にして支線數條を合併する時は二萬二千百哩以上に延長す

一當會社の配下に働く勞働者の利益點

- 給金 の支拂は正確にして假令配下を出たる後も其行先へ儘に送金す
 - 書翰 の當社會社へ着したる時は本人の手符に間違なく届く様極めて可噸に取扱ひ諸般の問合も迅速に通信す
 - 食料 品及び衣服まで頗る安價にして勞働地の遠近に不拘シヤトル市同様の價格にて購求するを得
 - 患者 の治療及待遇を鄭重にせんが爲各路市のセキラル病院に特約し米國醫學博士シヤールブルス氏を備聘し顧問となし治療を掌らしむ
- 其他各支店所在地にも各一名の米國醫を備ひ充分の治療を施し遺憾なからしむ

株式會社

●世話 の懇切なるは本社の特徴にして各支店には支部長及び巡回員數名を駐在せしめ絶へず各管轄區域を巡回し勉めて勞働者の權利利益を保護せしむ

●送金 は皆郵便送となし貯金臨時預金等確實の方法あり

THE ORIENTAL TRADING CO.

シヤトル市南第五街
東洋貿易會社工事部

- Seattle, Wash. 同 ホワイイトフイツシエ支部
- Whitefish, Mont. 同 スポークン市支部
- Spokane, Wash. 同 ハーバー市支部
- Havre, Mont. 同 ミッソワ市支部
- Missoula, Mont. 同

今回更に貯金部を擴張し當地最大のユニオンバンク、サウンド国立銀行と特約の上一層確實可噸に貯金の事務取扱可申候、貯金の利子は左の如し

一 三ヶ月迄年四分 一 六ヶ月以上年五分 一 一年以上年六分
 但し預金は五弗以上とし受取たる日より利息を附す

東洋貿易株式會社貯金部

今回商業部を擴張し日米兩國の食料品被服等類を安價に販賣仕候間何品に不係御注文被下度迅速に御積出し可申且市内は御注文次第御届可申候

東洋貿易株式會社商業部

K. Hirade Co.,

422 MAIN STREET,

SEATTLE WASHINGTON

直輸入商

平出商店

電話インデニー九五四

日米雜貨、食料品
 日用器具、機械精米
 右御小賣とも遠近に係はらず迅速御
 注文に應じ候間陸續御用命の程願上
 候也

シヤトル市メーシ街四二二

HOTEL SPRINGTON
R. HAYASHI, Proprietor
 SPRINGTON, Idaho

P. O. Box 32

林旅館
 館主 林琳平

○諸労働請負業
 ○當館は左の二大材木會社と特約し人夫を募集す
 ○スプリングストン材木會社
 ○ハリソン材木會社

○該會社は貯金部及病院の設けあり
 ○當地はスプリングストン市を去る約八十里あり
 ○R.N. 鐵道會社の支線に接する片田舎あり
 ○此地は山間に於て其中央をコールドレイ
 ○川貫流し毎日三回汽船往復の便あり
 ○當地の附近には數ヶ所の湖水ありは景色風佳夏期を通じて最良の位置なり

○當館は夏期に限りて御來客の便を斗り
 特にホリト貸しの設けあり
 其外大根畑凡て農業に従事する人夫を募集す
 ○仔細は而致又は書面にて問合はさる可
 し
 ○當館は昨三月初めて該社の所有にありし
 旅館を買受り以前の如く只白人社會のみ
 營業致し居り候處業務多忙を極むると共
 に同胞間が就働するに最良の位置なる事
 を見認め此度初めて該社と特約致し候へ
 は御望みの御方は至急御申込みられ
 業務擴張の爲め無手数料にて懇切に取扱
 申候

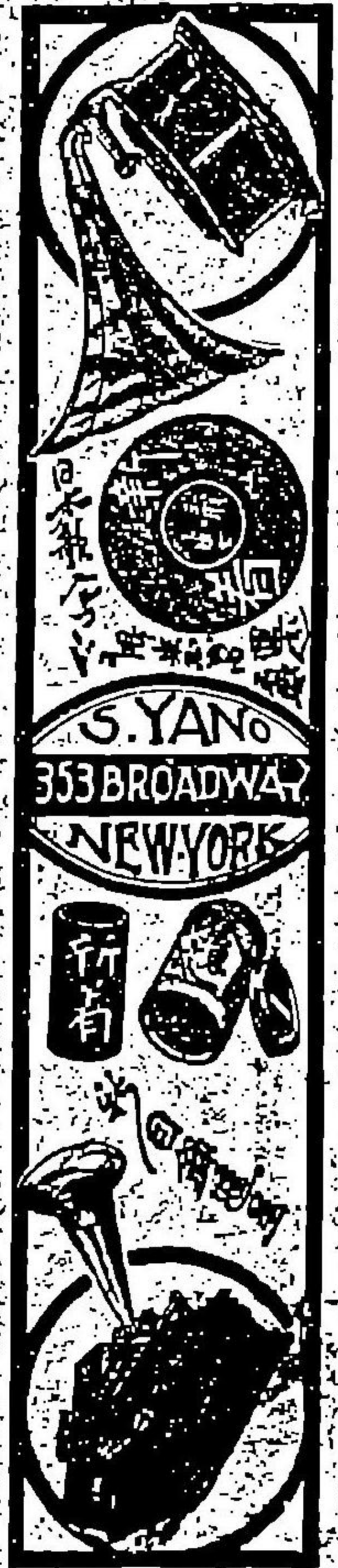
主任 林琳平
 申込所

梅々小ナナル
 農園及牧畜業 **林農園**
 (North West) Lowship, Spokane
 417 1/2 W. 4th St. Spokane, Idaho
 P. O. Box 382

シヤトル市エスラウエー八十貳番
理髮床 緒方倉吉

西洋風呂
洗濯所

伊海幸吉
電話アルニ〇貳五



S. Yano Japanese and Chinese Department
COLUMBIA PHONOGRAPH COMPANY
No. 353 BROADWAY
NEW YORK, U.S.A.

●茶珈琲販賣

今般日本と特約を結び精茶一手販賣致し正直と廉價とを以て御注文に應ずべく候間多少に抱はらず御
用向仰付け被下度候
尚ほ茶・珈琲共に十パウンツ以上御購求被下候御方には特別大割引可仕候

旅館 室内清潔 御取扱可寧にして御便宜を計り候へ
ば 續々御來宿の程願上候

シヤトル市メイン街六二九
館主 宮川源喜
(電話) エキス (三〇五二)

The Oriental American Bank

424 MAIN ST. SEATTLE, WASHINGTON

Cable Address "Ginko"

Western Union
n. b. c. 5th, edition

米國東洋銀行

太平洋沿岸西北部に於ける

唯一の同胞金融機關

取扱業務 爲替 荷爲替 株券賣買 貯蓄
預金 其の他一切の銀行業務

頭取 築野又次郎
副頭取 平出倉之助
支配人 荒井達彌

北米ワシントン州シヤトル市

米國東洋銀行

JAPANESE AMERICAN MUTUAL
TRUST COMPANY

500 Main St., Seattle, Washington, U.S.A.
P. O. Box 878.

特許登録代願土地家屋買賣借周旋商品
委託販賣火災保險事務手紙取次民刑事訴訟
及營業諸般ノ通辯英和文翻譯及代筆

北米合衆國華盛頓州シヤトル市第五街五百番地

日米共信社

松見大八
野村信之

顧問辯護士

電話 一、四二〇八
一、四二四七

洋服裁縫

シヤトル市ニスマラウエー街四百拾五番地

高津淺吉

電話 三〇一五

價を以て調製可仕候。同種々
用仰付け被下度奉願候。

和洋雜貨食料品一切
其他男女御化粧品類
日本郵船會社用達
同會社切符取次

シヤトル市南第五街二二七
さかみや

柴田商店

電話 インド六二九

貨物 家具 運搬
手荷物 石炭

汽車汽船切符取次
日本より通切符交換仕候

シヤトル市南第五街二二六

東洋運送社

電話 インド三三八一
郵 國 五二二三

洋

洋服販賣廣告

紳士と労働者の仕度所

オバホール、オバシャツ、デヤンバー、ブリーツ、レーンコート、ウエーターコート、エプロン

洋服靴、ネクタイ、トランクス、ストッキング、スリッパ



市ルトヤシ
ル一〇三三街ントツツ
トツセンサ
五六七五 シーメ
〇七八ールアデフヨ

服

橋

S. HASHIGUCHI

WASHINGTON STREET

THE WASHINGTON

橋別



服販賣廣告

服はシカゴ市一大製造會社にて日本人向き特
らへの洋服です。
服は日本人向特別製ですからパンツやせてを
ないカーゴ服の如く格好よく合ひます。
洋服は最新流行のスタイルで持物は特に日本人
のものが撰んであります。

橋口洋服は品質
の上下により正
札なればあなた
でも安心して買
へます。

口

西洋風呂

理髮 髮 床

權藤宗吉 勉 大

洗濯所

シヤトル市メイン街八拾四番
電話アール一四三二

LOEWS 五洲大藥房

●電話アール八〇九

野田庄庵
野田眼藥部
野田商會

●電話アール一〇八

西洋風呂 洗濯所

シヤトル市メイン街四百十六

寺田勝平

電話二三九六一

理髮店 伊海孝吉

和洋酒類販賣

- ウイスキー
- ワイン
- ブランドデー
- 日本酒



井關条次

シヤトル市第二街一三五
電話二一七五
自宅アール一四〇三

日本人醫會

診察時間 午前十時より十二時まで
午後二時より五時まで
但急患者は此限リニ非ズ

渡邊準哉
電話メロン四二三八
電話インデ二七二

診察時間 午前十時より
午後五時まで

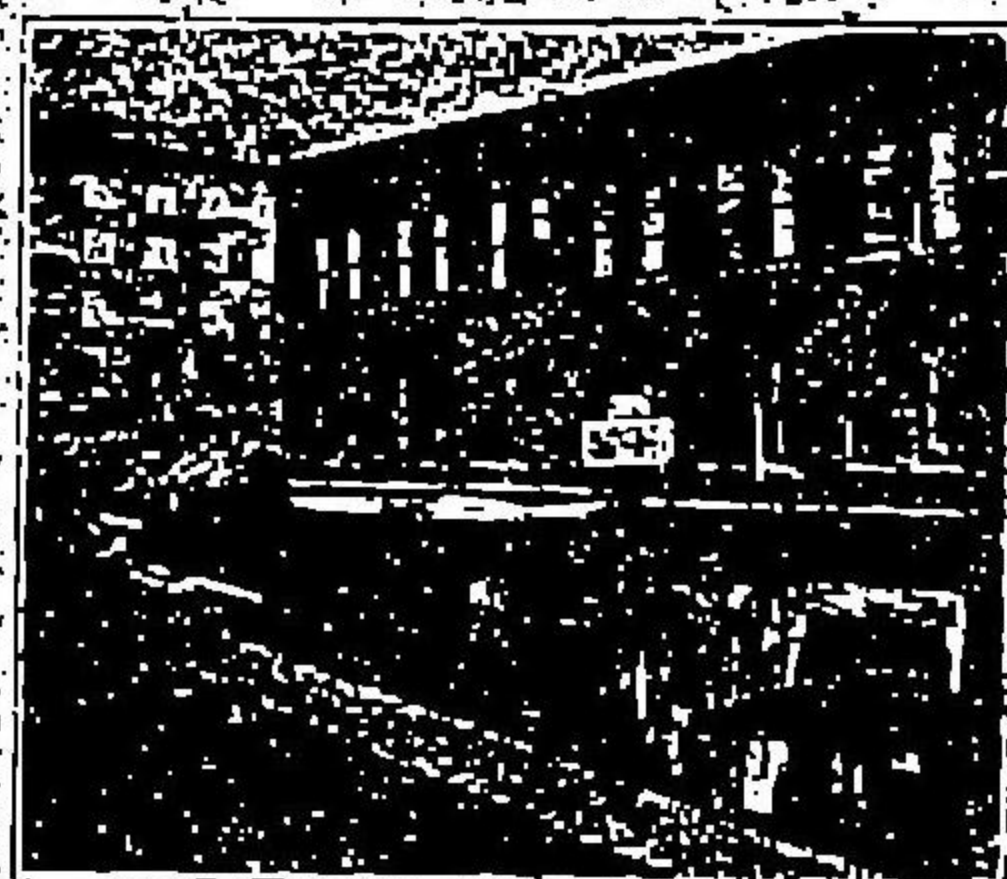
中木清秀
帝國ホテル十四十五號室
診察時間 午前十時
午後四時

診察時間 午前十時
午後四時

植松田津磨
佐藤次郎
内科 外科
電話二〇八二
電話二四四八

HOTEL GREAT NORTHERN

TELEPHONE INDEPENDENT A390
 P. O. BOX 928
 2165th AVE. SO.
 SEATTLE, WASHINGTON



旅
館

高
等

大 北 館

手荷物 大北回漕店
 取扱所
 内各汽船 切符取扱店
 外各汽車

館主 砂田和三郎

米國ワシントン州シャトル市
 南第五街二一六番

(電話) インディペンデント A三二九〇
 (郵函) 九二八

内外送金取次、働賃金立替
 日本金米金兩替、各仕事口周旋

愛友社本部

バンクーバー市

ウエストミンスター街二二二六

電話 二二二〇

晚香坡宿屋 組合事務所

236 Westminister Ave.,

Phone 2320 Vancouver, B. C.

115221

川崎兄弟商會

川崎兄弟商會は晚香坡市ウエストミンスター街の角にありて三番地間に亘れる一大商店なり
 川崎兄弟商會はトロント市シカゴ市等の大製造會社大問屋の特約を結びて電布トランク及びスーツケース類の極上品を安賣す
 川崎兄弟商會はロンドン及びトロントに一大勢力を有するハイン商會の特約を結びてタスマンの贈答用として樂術箱入チヨコレートを販賣す
 川崎兄弟商會は晚香坡市ウエストミンスター街の角にありて三番地間に亘れる一大商店なり
 川崎兄弟商會はトロント市シカゴ市等の大製造會社大問屋の特約を結びて電布トランク及びスーツケース類の極上品を安賣す
 川崎兄弟商會はロンドン及びトロントに一大勢力を有するハイン商會の特約を結びてタスマンの贈答用として樂術箱入チヨコレートを販賣す
 川崎兄弟商會は晚香坡市ウエストミンスター街の角にありて三番地間に亘れる一大商店なり
 川崎兄弟商會はトロント市シカゴ市等の大製造會社大問屋の特約を結びて電布トランク及びスーツケース類の極上品を安賣す
 川崎兄弟商會はロンドン及びトロントに一大勢力を有するハイン商會の特約を結びてタスマンの贈答用として樂術箱入チヨコレートを販賣す

晚香坡市ウエストミンスター街

和洋美術雜貨日用品其他
輸出輸入卸小賣商

川崎兄弟商會

KAWASAKI & BRO

Cor., Powell and Westminster
VANCOUVER, B. C.

Japan Rice Mill Co.

Exporters and Importers
 Phone 2540 P. O. Box 649
 249 Harris Street
 VANCOUVER, B. C.

輸出輸入

日本精米所

根來勝之助

晚香坡ウエストミンスター街
二百三十二番

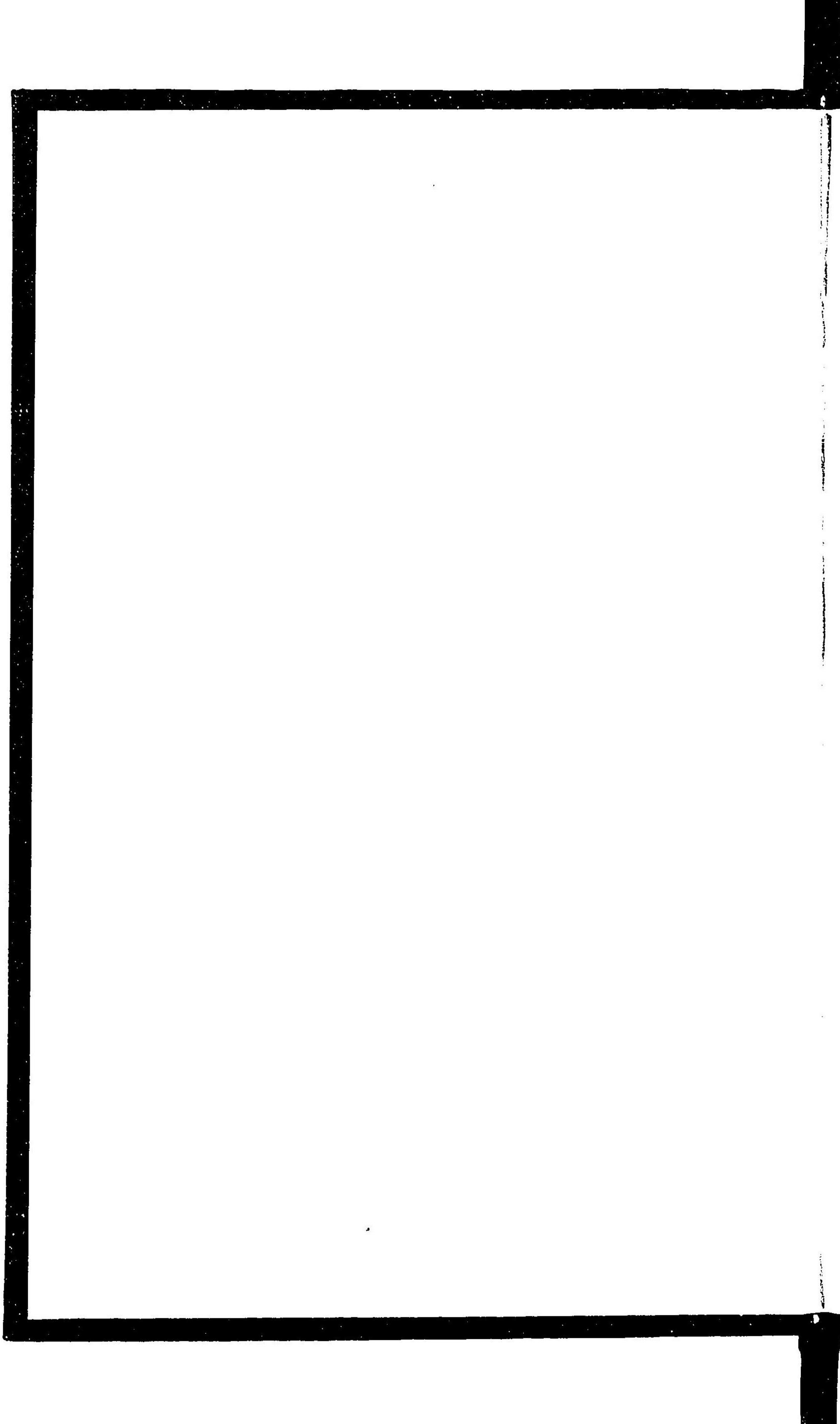
電話 一一七五 小川定吉

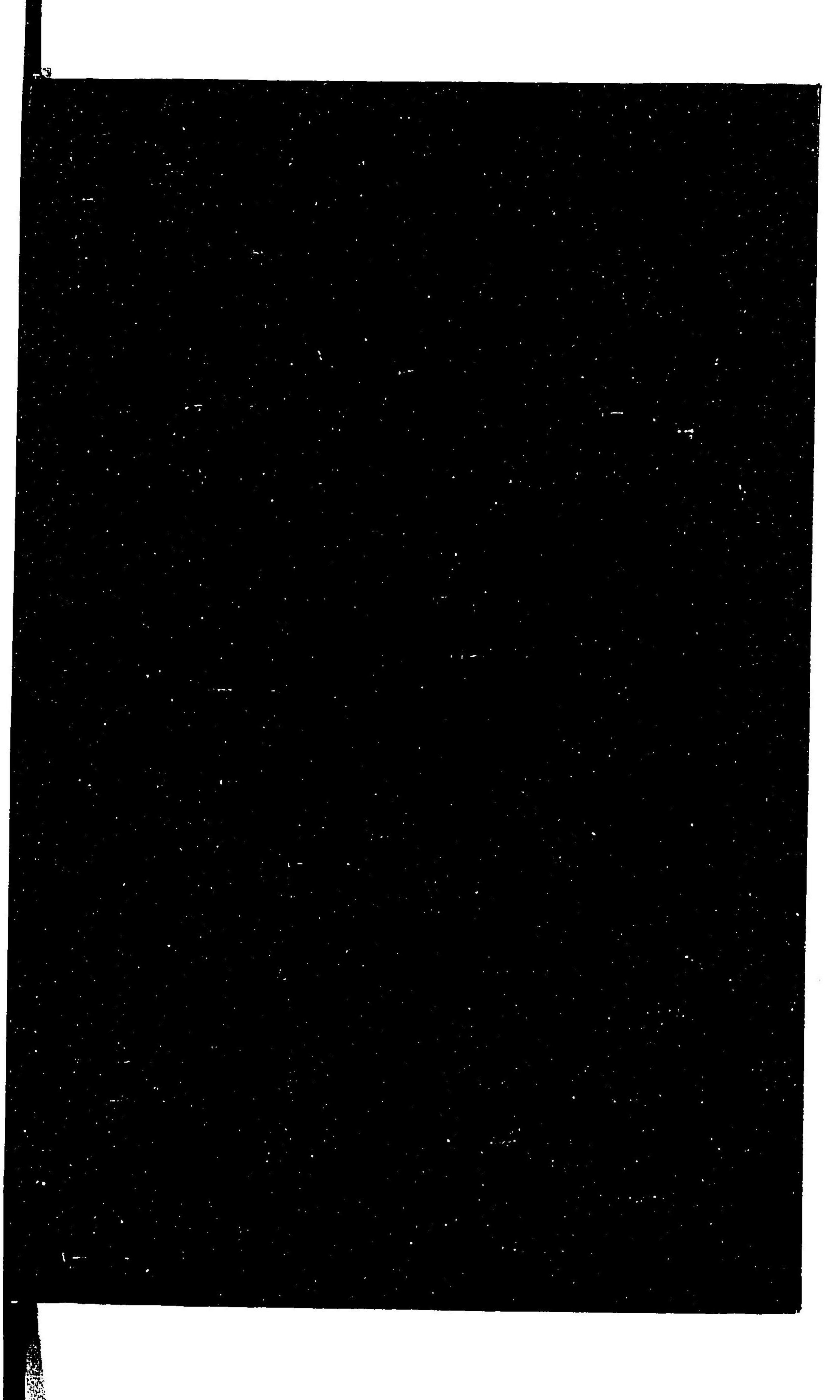
232 Westminister Ave.,
Vancouver, B. C.

1

1

1





74
390

(M)

026971-000-0

74-390

北米ワシントン州・英領コロンビヤ州日本人事情

石岡 彦一/編

M40

ADG-0100

